

令和8年度
小学部
【 本校 】
年間指導計画



令和8年度 小学部 時間割表（本校）

本校 小学部1年Ⅰ課程					
	月	火	水	木	金
1	自活	国語	生活	国語	自活
2	国語	算数	国語	体育	算数
3	算数	体育	図工	国語	生活
4	音楽	国語	図工	算数	国語
5	国語	生活	特活	音楽	道德
6					

本校 小学部2年Ⅰ課程					
	月	火	水	木	金
1	自活	国語	生活	国語	自活
2	国語	算数	国語	体育	算数
3	算数	体育	図工	国語	生活
4	音楽	国語	図工	算数	国語
5	国語	生活	算数	音楽	道德
6				特活	

本校 小学部3年Ⅰ課程					
	月	火	水	木	金
1	自活	国語	総合	国語	自活
2	国語	理科	総合	図工	算数
3	算数	理科	国語	図工	社会
4	国語	社会	算数	算数	国語
5	体育	算数	音楽	理科	道德
6	特活	国語		外活	

本校 小学部4年Ⅰ課程					
	月	火	水	木	金
1	自活	国語	総合	国語	自活
2	国語	理科	総合	図工	算数
3	算数	理科	国語	図工	社会
4	国語	社会	算数	算数	社会
5	体育	算数	音楽	理科	国語
6	特活	国語		外活	道德

本校 小学部5・6年Ⅰ課程					
	月	火	水	木	金
1	国語	国語	総合	国語	自活
2	算数	理科	総合	図工	算数
3	外国	理科	国語	図工	社会
4	家庭	社会	算数	算数	社会
5	体育	算数	音楽	理科	国語
6	特活	道德		外国	家庭

本校 小学部1年Ⅱ課程A					
	月	火	水	木	金
1	自活	国語	生活	国語	自活
2	国語	算数	国語	体育	算数
3	算数	体育	図工	自活	生活
4	音楽	国語	図工	算数	国語
5	生活	自活	特活	音楽	道德
6					

本校 小学部2年Ⅱ課程A					
	月	火	水	木	金
1	自活	国語	生活	国語	自活
2	国語	算数	国語	体育	算数
3	算数	体育	図工	自活	生活
4	音楽	国語	図工	算数	国語
5	生活	自活	算数	音楽	道德
6				特活	

本校 小学部3年Ⅱ課程A					
	月	火	水	木	金
1	自活	国語	生活	国語	自活
2	国語	算数	国語	体育	算数
3	算数	体育	図工	自活	生活
4	音楽	生活	図工	算数	国語
5	生活	自活	算数	音楽	道德
6	生活	特活		外活	

本校 小学部4年Ⅱ課程A					
	月	火	水	木	金
1	自活	国語	生活	国語	自活
2	国語	算数	国語	体育	算数
3	算数	体育	図工	自活	生活
4	音楽	生活	図工	算数	国語
5	生活	自活	算数	生活	道德
6	生活	特活		外活	音楽

本校 小学部5・6年Ⅱ課程A					
	月	火	水	木	金
1	生活	生活	生活	算数	算数
2	国語	自活	音楽	生活	図工
3	自活	外国語活動	算数	自活	特活
4	算数	道德	図工	国語	自活
5	国語	算数	国語	国語	国語
6	体育	音楽		体育	生活

本校 小学部1年Ⅱ課程B					
	月	火	水	木	金
1	生活	生活	生活	生活	生活
2	国語	算数	図工	体育	算数
3	自活	体育	図工	自活	自活
4	音楽	国語	算数	音楽	国語
5	生活	自活	自活	特活	道德
6					

本校 小学部2年Ⅱ課程B					
	月	火	水	木	金
1	生活	生活	生活	生活	生活
2	国語	算数	図工	体育	算数
3	自活	体育	図工	自活	自活
4	音楽	国語	算数	音楽	国語
5	生活	自活	自活	算数	道德
6				特活	

本校 小学部3年Ⅱ課程B					
	月	火	水	木	金
1	生活	生活	生活	生活	生活
2	国語	算数	図工	体育	算数
3	自活	体育	図工	自活	自活
4	音楽	国語	算数	音楽	国語
5	生活	自活	自活	算数	道德
6	生活	特活		外活	

本校 小学部4－6年Ⅱ課程B					
	月	火	水	木	金
1	生活	生活	生活	生活	生活
2	国語	算数	図工	体育	算数
3	自活	体育	図工	自活	自活
4	音楽	国語	算数	音楽	国語
5	生活	自活	自活	算数	道德
6	生活	特活		外活	生活

令和 8 年度 小学部 6 年（Ⅱ課程） 生活科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	小学部 6 年	宇根底智美	文部科学省著作教科書「せいかつ☆☆☆」

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 生活に必要な基礎的な知識・技能（基本的生活習慣・安全・日課・金銭・きまりなど）を身に付け、家庭・学校・地域の社会生活や自然・ものの仕組みを理解することができる。 (思判表力) 日常生活の場面で状況を判断し、自分の考えや気持ちを言葉・行動・絵などで表現する力を育てる。身近な出来事に気付き、問題解決しようとする思考力を育む。 (学・人) 身近な生活や社会に積極的に関わり、きまりを守り、人との関わりの喜びを感じながら生活を豊かにしようとする態度を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	60	(知及技) 登校～下校の1日の流れ・手順を知る (思判表力) 次の活動を予測して準備できる (学・人) 見通しをもって1日を過ごそうとする	(知・技) 日課の流れを覚えているか (思・判・表) 次の活動を自分で確認できるか (主学) 日課表を使って行動しようとするか	がっこうについたら (日課・予定)	日課表づくり→登校・朝の会・授業・給食・帰りの会の手順確認→ロールプレイ 【配慮】絵カード・写真付き日課表を活用。毎朝同じ手順で定着を図る。
		(知及技) 新しいクラスの友達・先生の名前を知る (思判表力) 自己紹介で自分のことを伝える (学・人) 友達・先生に積極的に関わろうとする	(知・技) クラスの友達・先生の名前を言えるか (思・判・表) 自己紹介で名前を言えるか (主学) 挨拶・声かけができているか	あたらしいなかま (人との関わり)	名前カード・自己紹介カード作成→グループで自己紹介ゲーム→友達紹介 【配慮】話すことが難しい場合は指差し・カードで代替。少人数グループから始める。
		(知及技) 春の植物・生き物の特徴に気付く (思判表力) 観察して気付いたことを伝える (学・人) 春の自然に興味をもって関わる	(知・技) 春の花・生き物の名前を言えるか (思・判・表) 観察したことを絵や言葉で表せるか (主学) 自然に積極的に関わるか	きせつとあそぼう 「はる」(生命・自然)	校庭の春探し→花・虫の観察記録→種まき・水やり→春の図鑑づくり 【配慮】虫が苦手な場合は写真で観察可。観察シートに絵と言葉で記録。
		(知及技) 外遊び・室内遊びの種類と遊びの使い方を知る (思判表力) 友達と一緒に遊ぶ方法を考える (学・人) 友達と仲良く遊ぼうとする	(知・技) 遊びの正しい使い方を知っているか (思・判・表) 遊びのルールを考えられるか (主学) 友達と一緒に遊ぼうとするか	あそびがいっぱい (遊び)	遊びの使い方確認→グループで外遊び→室内ゲーム→遊びの振り返り 【配慮】順番・交代のルールを視覚化。感情コントロールが難しい場合はクールダウンスペース設置。
		(知及技) 家・学校・道路の危険箇所と安全な行動を知る (思判表力) 危ない場面で安全な行動を選択できる (学・人) 安全に気をつけて行動しようとする	(知・技) 危険な場所・行動を言えるか (思・判・表) 「どうすればよいか」を考えられるか (主学) 安全ルールを守ろうとするか	みのまわりのあんぜん (安全)	学校内の危険箇所マップ→交通安全(横断歩道)練習→ロールプレイ→チェック 【配慮】写真・絵カードで危険場面を提示。近くで実際に体験できる場を設ける。
		(知及技) 夏の植物・生き物の特徴に気付く (思判表力) 夏の自然と春との違いに気付いて伝える (学・人) 夏の自然に親しんで関わる	(知・技) 夏の代表的な生き物・植物を言えるか (思・判・表) 春と夏の違いを比べて表せるか (主学) 夏の観察を楽しんでいるか	きせつとあそぼう 「なつ」(生命・自然)	夏の虫・花の観察→水遊び・シャボン玉→夏野菜の収穫→絵日記記録 【配慮】水遊びは安全管理を徹底。熱中症対策(水分補給・帽子)を指導。

2 学期		(知及技) 硬貨の種類・金額を知り、簡単な支払いができる (思判表力) 買い物の手順を理解して実践できる (学・人) お金の大切さに気付く、大切に扱う	(知・技) 硬貨の種類・金額を言えるか (思・判・表) 買い物の手順を実践できるか (主学) お金を大切に扱うとするか	おかねはたいせつかいものしょう(金銭の扱い)	硬貨の仕分け→金額合わせゲーム→校内模擬店→近隣への実際の買い物体験 【配慮】模擬貨幣も活用。金額は10円・50円・100円から始める。財布の使い方も指導。
		(知及技) 自分の物と他人の物の区別を知る (思判表力) きまりの必要性を考えて説明できる (学・人) きまりを守ろうとする	(知・技) 自分の物の管理ができるか (思・判・表) なぜきまりが必要か考えられるか (主学) きまりを意識して行動するか	だれのもの？きまりをまろう(きまり)	持ち物の名前確認→「借りる・貸す」のロールプレイ→生活のきまり確認 【配慮】名前シール・マーキングで所有を明確化。具体的な場面設定で指導。
	75	(知及技) 秋の植物・生き物の特徴に気付く (思判表力) 季節の変化(夏→秋)を観察して伝える (学・人) 秋の自然物に興味をもって関わる	(知・技) 秋の自然の特徴を言えるか (思・判・表) 季節の変化を比べて表せるか (主学) 秋探しを楽しんでいるか	きせつとあそぼう「あき」(生命・自然)	秋の自然探し→木の実・葉の採集→どんぐりこまなど自然物遊び→秋の図鑑まとめ 【配慮】安全確認(トゲのある植物等)。採集した素材は乾燥・消毒後使用。
		(知及技) 学校の施設・働く人の仕事を知る (思判表力) 学校内の施設の使い方を考えて行動する (学・人) 学校に関心を持ち積極的に関わろうとする	(知・技) 学校内の施設・職員の名前を知っているか (思・判・表) 施設を目的に合わせて使えるか (主学) 校内の人・場所に関心をもつか	わたしのがっこう(社会の仕組み)	校内探検→各施設の役割調べ→働く人にインタビュー→学校マップ作成 【配慮】グループで探検。インタビューは事前に質問を練習。写真・絵で記録。
		(知及技) 当番・日直の仕事の内容と手順を知る (思判表力) 仕事の順序を考えて取り組む (学・人) 役割を果たすことに達成感をもつ	(知・技) 当番の仕事内容を理解しているか (思・判・表) 仕事の手順を確認しながら進められるか (主学) 仕事を最後まで取り組もうとするか	せんせいのおてつだいをしょう(手伝い・仕事)	当番仕事の手順確認(給食・清掃等)→実際の担当→振り返りカード記録 【配慮】手順書(絵カード)を貼っておく。できた項目にチェックできるシートを活用。
		(知及技) 地域の行事(運動会・文化祭等)に参加する方法を知る (思判表力) 行事での自分の役割を理解して行動する (学・人) 地域の行事に参加する楽しさを感じる	(知・技) 行事の目的・内容を理解しているか (思・判・表) 自分の役割を意識して行動できるか (主学) 行事に積極的に参加しているか	ちいきのぎょうじ(役割・社会の仕組み)	行事の目的・流れの確認→役割分担の練習→行事参加→振り返り・感想 【配慮】事前に写真・動画で行事の様子を予告。役割を具体的に示す。
		(知及技) グループ遊びのルール・順番の守り方を知る (思判表力) 遊びの中でルールを守り、友達と協力する (学・人) みんなで楽しく遊ぼうとする	(知・技) ゲームのルールを理解しているか (思・判・表) ルールを守って遊んでいるか (主学) 友達と仲良く遊ぼうとするか	なかよくあそぼう(遊び・きまり)	ゲームのルール確認→グループ遊び→困ったときの解決方法→振り返り 【配慮】ルールカードを見えやすい場所に掲示。トラブル時は教師が仲立ちする。
		(知及技) 身近な道具の仕組み(スイッチ・ハサミ等)を知る (思判表力) 道具の使い方を考えて試す (学・人) 道具の仕組みに興味をもって調べる	(知・技) 道具の正しい使い方を知っているか (思・判・表) 道具を目的に合わせて使えるか (主学) 道具の仕組みに関心をもつか	ものの仕組みとはたらき①(ものの仕組み)	身近な道具の仕組み観察→分解体験(安全なもの)→まとめ 【配慮】安全管理を徹底。電気系は触らない約束を確認。写真・動画を活用。
		(知及技) 冬の自然の特徴(寒さ・霜・落ち葉)に気付く (思判表力) 四季の変化を比べてまとめる (学・人) 冬の自然にも積極的に関わる	(知・技) 冬の自然の特徴を言えるか (思・判・表) 秋との変化を比べて表せるか (主学) 寒さに負けず自然観察をするか	きせつとあそぼう「ふゆ」(生命・自然)	冬の校庭観察→氷・霜の観察→冬の遊び(凧揚げ・こま)→四季の比較まとめ 【配慮】防寒対策(手袋・帽子)を徹底。凍結した場所での活動は安全確認を優先。
		(知及技) 自分の家族構成・家族の役割を知る (思判表力) 家族への感謝の気持ちを伝える方法を考える (学・人) 家族を大切にしようとする	(知・技) 自分の家族の名前・関係を言えるか (思・判・表) 感謝を伝える方法を考えられるか (主学) 家族に関心を持ち感謝しているか	わたしとかぞく(人との関わり)	家族紹介カード作成→家族の仕事紹介→感謝のメッセージカード制作→渡す 【配慮】家庭環境に配慮した言葉かけ。「大切な人へ」など柔軟な設定にする。

3 学期	40	(知及技) 家での手伝い (片付け・配膳等)の手順を知る (思判表力)家族の一員として自分にできることを考える (学・人)進んで家の手伝いをしようとする	(知・技) 家での手伝い (片付け・配膳等)の手順を知る (思・判・表)家族の一員として自分にできることを考える (主学)進んで家の手伝いをしようとする	かぞくのしごとをてつだおう(手伝い・仕事)	家の手伝いの種類確認→学校で練習(配膳・片付け)→家での実践報告 【配慮】保護者と連携して家庭でも練習できる課題を設定。写真で取り組みを記録。
		(知及技) カレンダーの見方・予定表の活用方法を知る (思判表力)カレンダーを使って自分の予定を確認できる (学・人)見通しをもって生活しようとする	(知・技) カレンダーの見方・予定表の活用方法を知る (思・判・表)カレンダーを使って自分の予定を確認できる (主学)見通しをもって生活しようとする	カレンダーとよていひょう(日課・予定)	カレンダーの読み方→月間予定表作成→個人の週予定表記入→毎朝の確認習慣化 【配慮】大きな文字・絵カード付きカレンダーを使用。曜日・日付は色分けで分かりやすく。
		(知及技) 風の力で動くおもちゃの仕組みを知る (思判表力)風を利用して遊ぶ工夫を考える (学・人)風の不思議に興味をもって試す	(知・技) 風の力で動くおもちゃの仕組みを知る (思・判・表)風を利用して遊ぶ工夫を考える (主学)風の不思議に興味をもって試す	かぜとあそぼう(ものの仕組み②)	風で動くおもちゃ(風車・凧)試し遊び→どうして動くか考える→工夫して遊ぶ 【配慮】強風時の安全確認。屋外活動時は防寒具着用。凧糸の絡まりに注意。
		(知及技) 友達への適切な関わり方(声かけ・断り方)を知る (思判表力)場面に応じた言葉・行動を考えて実践する (学・人)友達と仲良く過ごすようにする	(知・技) 友達への適切な関わり方(声かけ・断り方)を知る (思・判・表)場面に応じた言葉・行動を考えて実践する (主学)友達と仲良く過ごすようにする	ともだちとなかよく(人との関わり・きまり)	場面絵でロールプレイ(「いっしょにあそぼう」「いやなときの断り方」)→実践 【配慮】スクリプト(台詞カード)を用意。無理な発話を強制しない。モデルを示す。
		(知及技) 地域の公共施設(図書館・公園等)の利用方法を知る (思判表力)施設の目的と利用マナーを考える (学・人)地域の施設を安全・適切に利用しようとする	(知・技) 地域の公共施設(図書館・公園等)の利用方法を知る (思・判・表)施設の目的と利用マナーを考える (主学)地域の施設を安全・適切に利用しようとする	まちのしせつをしろ(社会の仕組み)	地域の施設写真カード→施設の役割カードマッチング→実際に施設見学・利用体験 【配慮】見学先の事前確認・連絡。公共の場でのマナー(声の大きさ等)を事前指導。
		(知及技) 1年間で学んだことを振り返り整理できる (思判表力)自分の成長を感じ、次の学年への目標を考える (学・人)1年間の学びを誇りに思い、次への意欲をもつ	(知・技) 1年間で学んだことを振り返り整理できる (思・判・表)自分の成長を感じ、次の学年への目標を考える (主学)1年間の学びを誇りに思い、次への意欲をもつ	1年間でふりかえろう(まとめ)	1年間の写真スライド鑑賞→「できるようになったこと」カード記入→発表→修了式 【配慮】タブレットで1年間の写真を振り返る。保護者参観の機会(成果発表会)を設ける。
留意点 引継ぎ等		・ 図画工作・音楽・体育など他教科との合科的・関連的な指導を意識する(例:生活「秋の素材あそび」→図工「あきのそざいであそぼう」等)。 ・ 個別の指導計画において、金銭管理・安全行動・人との関わりに関する個別目標と連動させること。 ・ 校外学習・見学は事前に保護者・施設へ連絡し、安全管理を徹底すること。 ・ タブレットで記録した活動写真は学期末にポートフォリオにまとめ、保護者へ情報提供する。			

令和 8 年度 小学部 6 年（Ⅱ課程） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
210	小学部 6 年		こくご☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 文字（平仮名・片仮名）の読み書きを定着させ、語彙を広げるとともに、日常生活に必要なコミュニケーション能力を育てる。 (思判表力) 自分の考えや気持ちを相手に伝えたり、相手の話を聞いて理解しようとする力を育てる。 (学・人) 国語科の学習に意欲的に取り組み、言葉を使ってコミュニケーションを楽しもうとする態度を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	72	(知及技)自己紹介の言い方を理解し、自分の名前や好きなものを言うことができる。 (思判表力)歓迎会の流れを理解し、司会の言葉や挨拶を適切に行うことができる。 (学・人)友達や先生との関わりを大切にし、進んで自己紹介をしようとする。	(知・技)自己紹介の基本的な言い方を理解している。 (思・判・表)歓迎会で適切に挨拶や自己紹介をしている。 (主学)進んで自己紹介に取り組もうとしている。	かんげいかい	・自己紹介の練習 ・歓迎会の司会体験 ・友達の話聞く活動
		(知及技)平仮名の字形を理解し、正しい筆順で丁寧に書くことができる。 (思判表力)自分の名前や身近な言葉を平仮名で書き表すことができる。 (学・人)平仮名を書くことに関心を持ち、丁寧に書こうとする。	(知・技)平仮名を正しい筆順で書いている。 (思・判・表)自分の名前や身近な言葉を平仮名で表している。 (主学)丁寧に平仮名を書こうとしている。	ひらがなをかこう	・平仮名の練習 ・なぞり書き ・自分の名前を書く活動
		(知及技)乗り物の名前や特徴を表す言葉を理解することができる。 (思判表力)乗り物の絵や文を読んで、内容を理解することができる。 (学・人)乗り物に興味を持ち、進んで読もうとする。	(知・技)乗り物に関する語句を理解している。 (思・判・表)乗り物の特徴を読み取っている。 (主学)意欲的に読もうとしている。	のりもの	・乗り物の絵カードと名前のマッチング ・簡単な文の音読 ・乗り物クイズ
		(知及技)主語と述語の関係を理解し、簡単な文を書くことができる。 (思判表力)「～は～です」「～が～します」の文型を使って文を作ることができる。 (学・人)文を書くことに関心を持ち、進んで書こうとする。	(知・技)主語と述語のある文を書いている。 (思・判・表)適切な文型を使って文を作っている。 (主学)進んで文を書こうとしている。	ぶんをかこう	・絵を見て文作り ・文の組み立て練習 ・短い文を書く活動

		(知及技)虫の名前や特徴を表す言葉を理解することができる。 (思判表力)虫の絵や文を読んで、その特徴を理解することができる。 (学・人)虫に興味をもち、進んで読もうとする。	(知・技)虫に関する語句を理解している。 (思・判・表)虫の特徴を読み取っている。 (主学)意欲的に読もうとしている。	むし	・虫の観察 ・絵本の音読 ・虫の特徴を発表する活動
		(知及技)花の名前や色を表す言葉を理解することができる。 (思判表力)花の絵や文を読んで、その美しさを感じ取ることができる。 (学・人)花に興味をもち、進んで読もうとする。	(知・技)花に関する語句を理解している。 (思・判・表)花の様子を読み取っている。 (主学)意欲的に読もうとしている。	はな	・花の観察 ・色や形を表す言葉の学習 ・花の絵本の音読
		(知及技)遠足の思い出を表す言葉を理解し、体験したことを話すことができる。 (思判表力)楽しかった出来事を順序立てて話したり、友達の話聞いて質問したりすることができる。 (学・人)遠足の思い出を進んで話したり、友達の話聞こうとしたりする。	(知・技)体験を表す語句を使っている。 (思・判・表)順序を考えて話したり聞いたりしている。 (主学)進んで思い出を伝えようとしている。	たのしかったえんそく	・遠足の振り返り ・思い出の発表 ・絵日記の下書き
		(知及技)絵日記の書き方を理解し、文と絵で表現することができる。 (思判表力)体験したことや感じたことを絵や文で表現することができる。 (学・人)絵日記を書くことに関心をもち、進んで書こうとする。	(知・技)絵日記の形式で書いている。 (思・判・表)体験や感想を絵や文で表現している。 (主学)進んで絵日記を書こうとしている。	えにっきをかこう	・絵日記の書き方の学習 ・遠足の絵日記作成 ・発表会
		(知及技)夏休みの思い出を表す言葉を理解し、絵日記に書くことができる。 (思判表力)楽しかった出来事を選んで、絵や文で表現することができる。 (学・人)夏休みの思い出を進んで書こうとする。	(知・技)思い出を表す語句を使って書いている。 (思・判・表)出来事や感想を絵や文で表現している。 (主学)進んで夏休みの思い出を書こうとしている。	えにっきをかこう (夏休みの思い出)	・夏休みの思い出の発表 ・絵日記作成 ・クラスでの共有
		(知及技)物語に出てくる言葉や表現を理解することができる。 (思判表力)物語の順序や登場人物の行動を理解することができる。 (学・人)物語に興味をもち、進んで読もうとする。	(知・技)物語の語句を理解している。 (思・判・表)物語の内容を理解している。 (主学)意欲的に物語を読もうとしている。	おじいさんとねずみのおはなし	・物語の音読 ・登場人物の確認 ・場面の絵の並べ替え
		(知及技)火事に関する言葉や安全についての言葉を理解することができる。 (思判表力)火事の場面を読んで、安全な行動について考えることができる。 (学・人)安全に関心をもち、進んで読もうとする。	(知・技)火事や安全に関する語句を理解している。 (思・判・表)安全な行動について考えている。 (主学)意欲的に読もうとしている。	かじ	・火事に関する文章の音読 ・避難訓練の振り返り ・安全な行動の話し合い

2 学期	90	(知及技)電話の使い方や話し方を理解することができる。 (思判表力)電話での挨拶や用件の伝え方を適切に行うことができる。 (学・人)電話でのやりとりに関心を持ち、進んで練習しようとする。	(知・技)電話の使い方を理解している。 (思・判・表)適切に電話で話している。 (主学)進んで電話の練習をしようとしている。	でんわ	・電話の使い方の学習 ・ロールプレイ ・電話での挨拶と用件の伝達練習
		(知及技)物語に出てくる言葉や表現を理解することができる。 (思判表力)プレゼントを当てるクイズの場面を読んで、登場人物の気持ちを想像することができる。 (学・人)物語に興味を持ち、進んで読もうとする。	(知・技)物語の語句を理解している。 (思・判・表)登場人物の気持ちを想像している。 (主学)意欲的に物語を読もうとしている。	プレゼントはなあに	・物語の音読 ・登場人物の気持ちの話し合い ・クイズ作り
		(知及技)手紙の書き方を理解し、相手に伝わるように書くことができる。 (思判表力)相手や目的に応じて、適切な内容の手紙を書くことができる。 (学・人)手紙を書くことに関心を持ち、進んで書こうとする。	(知・技)手紙の形式で書いている。 (思・判・表)相手に伝わる内容を書いている。 (主学)進んで手紙を書こうとしている。	たよりをかこう	・手紙の書き方の学習 ・友達や家族への手紙作成 ・手紙の交換
		(知及技)物語に出てくる言葉や表現を理解することができる。 (思判表力)物語の展開や登場人物の行動を理解し、場面の様子を想像することができる。 (学・人)物語に興味を持ち、進んで読もうとする。	(知・技)物語の語句を理解している。 (思・判・表)物語の展開を理解している。 (主学)意欲的に物語を読もうとしている。	ブレーメンのまちのおはなし	・物語の音読 ・場面の絵の確認 ・動物たちの役割を演じる活動
		(知及技)これまで学習した文型を使って、正しく文を書くことができる。 (思判表力)絵を見て、適切な文を作ることができる。 (学・人)文を書くことに意欲的に取り組もうとする。	(知・技)正しい文型で文を書いている。 (思・判・表)絵の内容に合った文を作っている。 (主学)意欲的に文を書こうとしている。	ぶんをかこう（復習）	・絵を見て文作り ・文の組み立て復習 ・短作文の作成
		(知及技)物語全体を通して、語句や表現を理解することができる。 (思判表力)物語全体の内容を理解し、感想を述べることができる。 (学・人)物語を楽しみ、進んで感想を伝えようとする。	(知・技)物語の語句や表現を理解している。 (思・判・表)物語の内容や感想を述べている。 (主学)進んで感想を伝えようとしている。	ブレーメンのまちのおはなし (続き・まとめ)	・物語の音読 ・感想の発表 ・劇遊び

3 学期	48	(知及技)平仮名を正しく丁寧に書くことができる。 (思判表力)平仮名を使って、簡単な言葉や文を書くことができる。 (学・人)平仮名を丁寧に書こうとする態度を身に付ける。	(知・技)平仮名を正しく書いている。 (思・判・表)平仮名で言葉や文を書いている。 (主学)丁寧に書こうとしている。	ひらがなをかこう (復習・まとめ)	・平仮名の総復習 ・言葉集め ・短い文の作成
		(知及技)電話での適切な話し方を身に付けることができる。 (思判表力)様々な場面での電話のやりとりを適切に行うことができる。 (学・人)電話でのコミュニケーションを大切にしようとする。	(知・技)電話での適切な言葉遣いを理解している。 (思・判・表)場面に応じた電話のやりとりをしている。 (主学)進んで電話の練習をしようとしている。	でんわ (復習・発展)	・電話の応用練習 ・様々な場面でのロールプレイ ・実際の電話体験
		(知及技)手紙の書き方を理解し、相手に応じた手紙を書くことができる。 (思判表力)感謝の気持ちや思いを適切に手紙で伝えることができる。 (学・人)手紙を通じて人と関わることを大切にしようとする。	(知・技)手紙の形式で書いている。 (思・判・表)相手に応じた内容を書いている。 (主学)進んで手紙を書こうとしている。	たよりをかこう (復習)	・お世話になった人への手紙作成 ・感謝の気持ちを伝える手紙 ・手紙の発表
		(知及技)1年間の学習を振り返り、成長したことを発表することができる。 (思判表力)次の学年を迎える会で、自分の成長や思いを適切に伝えることができる。 (学・人)1年間の学習を振り返り、進んで発表しようとする。	(知・技)発表の言葉を理解している。 (思・判・表)自分の成長や思いを伝えている。 (主学)進んで発表しようとしている。	かんげいかい (次の学年を迎える会)	・1年間の振り返り ・発表の準備 ・発表会
		(知及技)1年間で学習した語句や文を確認し、定着を図ることができる。 (思判表力)1年間の学習を振り返り、できるようになったことを確認することができる。 (学・人)学習したことを大切にし、次の学年への意欲をもつ。	(知・技)学習した語句や文を理解している。 (思・判・表)できるようになったことを確認している。 (主学)次の学年への意欲をもっている。	1年間のまとめ	・総復習 ・作品集の作成 ・次の学年への目標設定
留意点 引継ぎ等		・個々の児童の実態に応じて、文字の大きさ、教材の提示方法、学習時間等を調整する。 ・視覚支援（絵カード、写真、実物等）を積極的に活用し、理解を促す。 ・繰り返し学習を重視し、定着を図る。			

令和 8 年度 小学部 6年(Ⅱ課程) 算数科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	小学部6年		さんすう☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 20程度までの数の読み書きや簡単な計算の意味、身近な量の比較、時刻の読み方、図形の認識、お金の使い方などについて理解し、それらを扱う技能を身につける。 (思判表力) 日常生活の場面において、数や量、図形の概念を活用して考えたり、表やグラフで整理して表現したりする力を養う。 (学・人) 数や量、図形に関心をもち、進んで算数的活動に取り組もうとするとともに、算数を日常生活に生かそうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	60	(知及技)身近な具体物を正確に数える技能を身につける。 (思判表力)順序立てて考える力を養う。 (学・人)数えることに興味をもつ。	(知・技)10程度まで正確に数える。 (思・判・表)整理しながら数えている。 (主学)進んで数えようとしている。	かぞえましょう	・おはじき・ブロック数え ・教室内の物数え ・友達の人数数え
		(知及技)10以上20程度までの数の読み書き。 (思判表力)10のまとまりを意識する。 (学・人)大きな数に関心をもつ。	(知・技)10～20程度の読み書き。 (思・判・表)10のまとまりを使っている。 (主学)大きな数を数えようとする。	10からのかず	・数カード ・10のまとまり作り ・20までの読み書き
		(知及技)10ずつまとめて数える方法。 (思判表力)工夫して数える力。 (学・人)まとめて数える便利さに気づく。	(知・技)10ずつまとめて数える。 (思・判・表)効率的な数え方を工夫する。 (主学)意欲的に取り組む。	10ずつまとめてかぞえましょう	・ブロックまとめ ・お菓子数え ・10のまとまり確認
		(知及技)多少の判断。 (思判表力)大小の比較表現。 (学・人)比較に関心をもつ。	(知・技)大小を判断できる。 (思・判・表)多い・少ないを表現する。 (主学)進んで比較する。	どちらがおおいでしょう	・数比べ ・おはじき選び ・「どちらがおおい？」ゲーム
		(知及技)順番に並べる方法。 (思判表力)順序数の概念。 (学・人)順番を意識する。	(知・技)順番に並べる。 (思・判・表)「○番目」で説明する。 (主学)順番を意識して活動する。	じゅんばんにならべましょう	・大きさ順・長さ順並べ ・「1番目、2番目」理解 ・順番確認
		(知及技)簡単な加法場面の理解。 (思判表力)式で表す力。 (学・人)数が増える場面への関心。	(知・技)加法場面の理解。 (思・判・表)合わせる場面の説明。 (主学)進んで取り組む。	なんこはいったでしょう	・玉入れ活動 ・合わせていくつ ・絵を使った加法場面
		(知及技)加法の意味と計算。 (思判表力)合併場面の表現。 (学・人)合わせる興味。	(知・技)簡単な加法。 (思・判・表)式で表す。 (主学)計算に取り組む。	あわせてなんびきになるでしょう	・動物カード合わせ ・絵を見て考える ・ブロック加法
		(知及技)増加場面の加法。 (思判表力)増える場面の表現。 (学・人)増える場面への関心。	(知・技)増加場面を式にする。 (思・判・表)増える場面の説明。 (主学)理解しようとする。	なんわになるでしょう	・「また来ました」の場面 ・絵カード ・お話から式作り

2 学 期	75	(知及技)2ずつ数える方法。 (思判表力)規則的に数える工夫。 (学・人)便利さに気づく。	(知・技)2ずつ数える。 (思・判・表)規則性を見つける。 (主学)2とび活動に取り組む。	2とびでかぞえましょ う	・2とび数え ・対になる物数え ・数直線
		(知及技)等分の概念。 (思判表力)公平に分ける思考。 (学・人)仲良く分ける態度。	(知・技)等しく分ける。 (思・判・表)分ける方法の 説明。 (主学)公平に分けようとする。	ふたりでわけましょ う	・お菓子分け ・同じ数ずつ配る ・「1個ずつ」体験
		(知及技)長さ比較の方法。 (思判表力)長い・短い判断。 (学・人)長さへの関心。	(知・技)長さを比べる。 (思・判・表)長い・短い表 現。 (主学)興味をもつ。	ながさをくらべましょ う	・鉛筆・ひも比較 ・直接比較 ・教室内長さ探し
		(知及技)高さ比較の方法。 (思判表力)高い・低い判断。 (学・人)高さへの気づき。	(知・技)高さを比べる。 (思・判・表)高い・低い説 明。 (主学)高さに注目する。	たかさをくらべましょ う	・積み木比較 ・身長比較 ・高い・低い理解
	75	(知及技)太さ比較の方法。 (思判表力)太い・細い判断。 (学・人)太さへの気づき。	(知・技)太さを比べる。 (思・判・表)太い・細い表 現。 (主学)太さに注目する。	ふとさをくらべましょ う	・クレヨン・枝比較 ・太い・細い理解 ・身の回りの物比較
		(知及技)厚さの概念。 (思判表力)観察判断力。 (学・人)厚さへの気づき。	(知・技)厚い・薄い判断。 (思・判・表)言葉での表現。 (主学)厚さに注目。	あつい、うすい	・本・ノート比較 ・触って確かめる
		(知及技)深さの概念。 (思判表力)観察判断力。 (学・人)深さへの気づき。	(知・技)深い・浅い判断。 (思・判・表)言葉での表現。 (主学)深さに注目。	ふかい、あさい	・コップ、容器など ・プール、洗面器など
		(知及技)生活と時刻の関係。 (思判表力)生活順序と時刻。 (学・人)時刻を意識する。	(知・技)生活と時刻の関連 づけ。 (思・判・表)順序説明。 (主学)意識しようとする。	1日のせいかつ	・一日の振り返り ・朝昼夜 ・生活時刻表
		(知及技)長針・短針の役割。 (思判表力)針の動き観察。 (学・人)時計への関心。	(知・技)針の区別。 (思・判・表)位置観察。 (主学)関心をもつ。	ながいはり、みじかい はり	・時計(実物・模型等)
		(知及技)午前午後の意味。 (思判表力)一日の区分。 (学・人)時刻表現への活用。	(知・技)午前午後の区別。 (思・判・表)説明できる。 (主学)関心をもつ。	ごぜん、ごご	・意味理解 ・生活区分 ・「午前〇時」練習
		(知及技)カレンダーの見方。 (思判表力)日付・曜日読み取り。 (学・人)予定確認への活用。	(知・技)カレンダーを読む。 (思・判・表)日付説明。 (主学)活用しようとする。	カレンダー	・見方理解 ・今日の日付 ・行事探し
		(知及技)右左の概念。 (思判表力)位置説明。 (学・人)意識して行動。	(知・技)右左区別。 (思・判・表)位置説明。 (主学)意識している。	みぎとひだり	・右手左手確認 ・指示ゲーム ・位置説明

3 学期	40	(知及技)基本図形認識。 (思判表力)形への気づき。 (学・人)分類への関心。	(知・技)形を区別。 (思・判・表)特徴説明。 (主学)形探しに取り組む。	いろいろなかたち	・丸三角四角 ・形探し ・仲間分け
		(知及技)四角形の特徴と作成。 (思判表力)性質考察。 (学・人)作成活動への意欲。	(知・技)四角形を作る。 (思・判・表)特徴説明。 (主学)取り組んでいる。	しかくをつくってみま しょう	・色板・積み木 ・辺・角確認 ・折り紙
		(知及技)三角形の特徴と作成。 (思判表力)性質考察。 (学・人)作成活動への意欲。	(知・技)三角形を作る。 (思・判・表)特徴説明。 (主学)取り組んでいる。	さんかくをつくってみ ましょう	・色板・積み木 ・辺・角確認 ・折り紙
		(知及技)表の見方・作り方。 (思判表力)整理・まとめ。 (学・人)整理しようとする態度。	(知・技)表を作る。 (思・判・表)データ整理。 (主学)取り組んでいる。	ひょうをつくりましょ う	・好きな物調査 ・表整理 ・読み取り
		(知及技)グラフの見方。 (思判表力)グラフ表現。 (学・人)比較活用。	(知・技)グラフ作成。 (思・判・表)比較。 (主学)取り組んでいる。	グラフをつくってみま しょう	・表からグラフへ ・棒グラフ理解 ・比較
		(知及技)お金の種類・買い物。 (思判表力)代金とお金の選択。 (学・人)正しく使う態度。	(知・技)種類区別・買い物。 (思・判・表)適切なお金選 び。 (主学)意欲的に取り組む。	かいものをしましょ う・おかね	・硬貨理解 ・模擬買い物 ・支払い練習 ・実体験
留意点 引継ぎ等		【指導上の留意点】 ・個に応じた指導: 児童の実態に応じて、具体物・半具体物・抽象的表現を適切に使い分ける。 ・視覚的支援: 数カード、図形カード、時計模型、模擬貨幣など、視覚的な教材を積極的に活用する。 ・繰り返し学習: 同じ内容を異なる場面で繰り返し扱い、定着を図る。 ・日常生活との関連: 学習内容を日常生活の場面と結びつけ、実用的な力を育てる。 ・スモールステップ: 一つ一つの段階を丁寧に指導し、確実に理解させてから次に進む。 ・ICT活用: タブレット端末などを活用し、視覚的・動的な理解を促進する。 ・評価の工夫: 児童の小さな変化や成長を見逃さず、具体的にほめて自信をもたせる。 【引継ぎ事項】 ・各児童の到達度と支援方法を記録し、次年度に引き継ぐ。 ・特に配慮が必要な内容や効果的だった教材・方法を申し送る。 ・保護者との連携状況や家庭での取り組みについても情報共有する。			

令和 8 年度 小学部 6年(Ⅱ課程) 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部6年		おんがく☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		【知識及び技能】 曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、どのように表現するかについて考え、音楽活動を工夫する力を育てる。 【学びに向かう力・人間性等】 音や音楽に楽しく関わり、教師や友達と協力して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に興味をもちながら親しむ態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技) 曲名や歌詞に使われる言葉と、曲のイメージとの関わりに気付く。 (思判表力) 曲の雰囲気を感じ取り、思いに合った歌い方で表現する。 (学・人) 季節の歌に親しみ、進んで歌おうとする。	(知・技) 春の歌の歌詞や曲名について理解し、声の大きさや発声を意識して歌っている。 (思・判・表) 曲の雰囲気を感じ取り、自分なりの表現を工夫している。 (主学) 季節の歌を歌うことに興味をもち、進んで歌おうとしている。	季節を感じて歌おう(歌唱) 題材:春の歌、校歌、やまびこごっこ、世界中のこどもたちが	身振りやサインを使って歌詞の内容を表現する、範唱を聴いて歌う、友達と一緒に歌う
		(知及技) リズム、強弱、音色の違いに気付き、楽器の演奏技能を身に付ける。 (思判表力) リズムや強弱を生かした表現を工夫する。 (学・人) 楽器の音に興味をもち、進んで演奏しようとする。	(知・技) リズムや音色の違いに気付き、打楽器や旋律楽器を演奏している。 (思・判・表) リズムや強弱を意識して、表現を工夫している。 (主学) 楽器に興味をもち、進んで演奏しようとしている。	リズムや音を鳴らそう(器楽) 題材:打楽器、旋律楽器、かえるのがつしょう	様々な打楽器や旋律楽器に触れる、リズムに合わせて演奏する、簡単な楽譜を見ながら演奏する
		(知及技) 拍やリズムを感じ取り、体の動きで表現する技能を身に付ける。 (思判表力) 音楽に合った体の動きを考え、表現を工夫する。 (学・人) 音楽に合わせて体を動かすことを楽しみ、友達と一緒に表現しようとする。	(知・技) 拍やリズムを意識して、体の動きで表現している。 (思・判・表) 音楽に合った動きを考え、思いに合った表現をしている。 (主学) 音楽に合わせて体を動かすことを楽しみ、進んで活動している。	拍子を感じて表現しよう(身体表現) 題材:踊ろう楽しいポーレチケ、アルプス一万尺	音楽に合わせて表紙を手拍子でとる、簡単な振り付けで踊る、友達と伊地緒に動きを合わせる
		(知及技) 音の面白さや特徴に気付き、音を選んだりつなげたりする。 (思判表力) 音の出し方や組み合わせを工夫する。 (学・人) 音遊びを楽しみ、いろいろな音を試そうとする。	(知・技) 音の面白さに気付き、音を選んだりつなげたりしている。 (思・判・表) 音の出し方を試しながら、表現を工夫している。 (主学) 音遊びに興味をもち、進んで音を出そうとしている。	身近なものであそぼう(音楽づくり) 題材:雨ふり、身近な楽器で音遊び	身近な物で音を出す、音の高低や強弱を試す、音をつなげて簡単なリズムをつくる
		(知及技) 夏の歌の歌詞や曲想を理解し、発声や歌い方の技能を身に付ける。 (思判表力) 曲の雰囲気を感じ取り、歌い方を工夫する。 (学・人) 夏の歌に親しみ、進んで歌おうとする。	(知・技) 夏の歌の歌詞を理解し、声の大きさやリズムを意識して歌っている。 (思・判・表) 曲の雰囲気を感じ取り、思いに合った歌い方をしている。 (主学) 夏の歌を歌うことを楽しみ、進んで活動している。	夏の歌を歌おう(歌唱) 題材:夏の歌、うみ など	範唱を聴く、歌詞の意味を考える、サインや身振りで表現する、友達と一緒に歌う
		(知及技) いろいろな楽器や音楽のリズム・旋律に興味をもつ。 (思判表力) 曲の雰囲気や楽器の音色を聴き取り、感じたことを表現する。 (学・人) 様々な音楽に興味をもち、進んで聴こうとする。	(知・技) 楽器の音色や曲の雰囲気に気付いている。 (思・判・表) 曲を聴いて感じたことを言葉や動作で表現している。 (主学) 様々な音楽に興味をもち、進んで鑑賞しようとしている。	オーケストラの演奏を鑑賞しよう(鑑賞) 題材:ライオンの行進、ギャロップ、はるのうみ	映像を見ながら音楽を聴く、楽器の音色に注目する、感じたことを話す、体を動かしながら聴く

2 学 期	30	(知及技) 曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりに気付く。 (思判表力) 範唱を聴いて曲の雰囲気を感じ取り、歌い方を工夫する。 (学・人) 秋の歌に親しみ、友達と一緒に歌おうとする。	(知・技) 曲の速さや強弱と雰囲気の関わりに気付き、歌詞やリズムを意識して歌っている。 (思・判・表) 曲の雰囲気を感じ取り、速さや強弱を工夫して歌っている。 (主学) 秋の歌を楽しみ、友達と一緒に歌おうとしている。	リズムを感じて歌おう(歌唱) 題材: まっかなあき、大きな歌、小さな世界	歌詞カードやイラストで曲のイメージをもつ、範唱を聴く、強弱や速さを変えて歌う、サインで表現する
		(知及技) 拍のリズム(2拍子・3拍子・4拍子)や簡単な旋律を理解し、演奏技能を身に付ける。 (思判表力) 拍やリズムを意識し、表現を工夫する。 (学・人) 様々な拍子の曲に興味をもち、進んで演奏しようとする。	(知・技) 拍のリズムや旋律を理解し、簡単な楽譜を見て演奏している。 (思・判・表) 拍やリズムを意識し、表現を工夫している。 (主学) 様々な拍子の曲に興味をもち、進んで演奏しようとしている。	いろいろな拍子を鳴らそう(器楽) 題材: 輝け囃、虫の声、旋律楽器・打楽器	拍子を手拍子で取る、打楽器で拍子を演奏する、簡単な楽譜を見ながら旋律楽器を演奏する、友達と合わせて演奏する
		(知及技) 音の特徴や組み合わせの面白さに気付き、音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。 (思判表力) 音を選んだり、つなげたりして表現を工夫する。 (学・人) 音楽づくりを楽しみ、いろいろな音を試そうとする。	(知・技) 音の特徴に気付き、音を選んだりつなげたりしている。 (思・判・表) 音を組み合わせ、表現を工夫している。 (主学) 音楽づくりに興味をもち、進んで活動している。	楽器でやりとりしよう(音楽づくり) 題材: 楽器でおはなし、リズムづくり	楽器で問いかけと答えをつくる、友達と音でやりとりする、簡単なリズムをつくる
		(知及技) 音楽のリズムや雰囲気を感じ取り、体の動きで表現する技能を身に付ける。 (思判表力) 音楽に合った動きを考え、表現を工夫する。 (学・人) 音楽に合わせて自由に体を動かすことを楽しむ。	(知・技) 音楽のリズムや雰囲気を感じ取り、様々な体の動きで表現している。 (思・判・表) 音楽に合った動きを考え、自分なりの表現をしている。 (主学) 音楽に合わせて体を動かすことを楽しみ、進んで活動している。	リズムや雰囲気を感じて表現しよう(身体表現) 題材: あらうま、音楽に合わせて体を動かす	音楽を聴いて自由に動く、リズムに合わせて歩く・跳ぶ、友達と一緒に動く
		(知及技) 曲の歌詞や旋律を理解し、歌唱技能を身に付ける。 (思判表力) 発表に向けて、歌い方を工夫する。 (学・人) 学習発表会に向けて、意欲的に練習しようとする。	(知・技) 歌詞や旋律を理解し、声の大きさやリズムを意識して歌っている。 (思・判・表) 発表を意識して、歌い方を工夫している。 (主学) 学習発表会に向けて、意欲的に練習している。	学習発表会の歌を歌おう(歌唱) 題材: 学習発表会の歌、交流の歌	範唱を繰り返し聴く、歌詞を覚える、サインや振り付けを付ける、友達と一緒に歌う、発表練習をする
		(知及技) 冬の歌の歌詞や曲想を理解し、歌唱技能を身に付ける。 (思判表力) 曲の雰囲気を感じ取り、歌い方を工夫する。 (学・人) 冬の歌に親しみ、進んで歌おうとする。	(知・技) 冬の歌の歌詞を理解し、擬音語を強調して歌っている。 (思・判・表) 曲の雰囲気を感じ取り、思いに合った歌い方をしている。 (主学) 冬の歌を楽しみ、進んで歌おうとしている。	冬の歌を歌おう(歌唱) 題材: きたかぜこぞうのかんたろう、冬の歌	「ヒューン」「ヒュルルン」などの擬音語を強調して歌う、笠を被ってリズムよく歩きながら歌う、範唱を聴く
		(知及技) 楽器の音色や曲の特徴に気付く。 (思判表力) 曲や演奏の楽しさを見出して聴く。 (学・人) 様々な音楽に興味をもち、進んで鑑賞しようとする。	(知・技) 楽器の音色や曲の特徴に気付いている。 (思・判・表) 曲の楽しさや良さを感じ取り、感じたことを表現している。 (主学) クラシック音楽に興味をもち、進んで鑑賞しようとしている。	クラシック音楽を鑑賞しよう(鑑賞) 題材: 金管楽器、木琴の演奏、有名なクラシック曲	タブレット端末で演奏を視聴する、楽器の音色に注目する、有名な曲を聴く、感じたことを話す
		(知及技) 音の特徴や組み合わせの面白さに気付き、音楽づくりの技能を身に付ける。 (思判表力) 音の出し方や組み合わせを工夫し、音楽づくりの発想をもつ。 (学・人) ICT機器を使った音楽づくりに興味をもち、進んで活動しようとする。	(知・技) 音の特徴や面白さに気付き、音楽づくりをしている。 (思・判・表) 音の組み合わせを工夫し、音楽づくりの発想をもっている。 (主学) ICT機器を使った音楽づくりに興味をもち、進んで活動している。	みんなでつくろう(音楽づくり) 題材: クロームミュージックラボ、ICT機器を活用した音楽づくり	タブレット端末で音楽づくりアプリを使う、いろいろな音を試す、音を組み合わせる、友達と一緒につくる
		(知及技) 音楽のリズムや拍を感じ取り、友達と動きを合わせる技能を身に付ける。 (思判表力) 友達と動きを合わせながら、表現を工夫する。 (学・人) 友達と一緒に踊ることを楽しみ、協力しようとする。	(知・技) 音楽のリズムや拍を感じ取り、友達と動きを合わせている。 (思・判・表) 友達と動きを合わせながら、表現を工夫している。 (主学) 友達と一緒に踊ることを楽しみ、協力しようとしている。	みんなで一緒に表現しよう(身体表現) 題材: だるまさんがおどった、友達と一緒に踊る	音楽に合わせて友達と一緒に踊る、動きを合わせる、簡単な振り付けを覚える、発表する

3 学 期	16	(知及技) 春の歌の歌詞や曲想を理解し、歌唱技能を身に付ける。 (思判表力) 範唱や伴奏をよく聴き、歌い方を工夫する。 (学・人) 春の歌に親しみ、友達と一緒に歌おうとする。	(知・技) 春の歌の歌詞やリズムを理解し、教師や友達と発声を合わせて歌っている。 (思・判・表) 範唱や伴奏をよく聴き、歌い方を工夫している。 (主学) 春の歌を楽しみ、友達と一緒に歌おうとしている。	春の歌を歌おう(歌唱) 題材:どこかで春が、春の歌	範唱を聴く、歌詞やリズムを覚える、教師や友達と一緒に歌う、サインで表現する
		(知及技) いろいろなリズムや音階、歌声に興味をもつ。 (思判表力) 曲や演奏の楽しさを見出し、感じたことを表現する。 (学・人) 様々な音楽に興味をもち、進んで鑑賞しようとする。	(知・技) いろいろなリズムや音階、歌声に気付いている。 (思・判・表) 曲の楽しさや良さを感じ取り、感じたことを表現している。 (主学) 様々な音楽に興味をもち、進んで鑑賞しようとしている。	いろいろな音楽を鑑賞しよう(鑑賞) 題材:オペラ、ミュージカル、世界の音楽	タブレット端末で映像を視聴する、いろいろな音楽に触れる、感じたことを話す、体を動かしながら聴く
		(知及技) 友達の楽器の音を聴いて演奏する技能を身に付ける。 (思判表力) 友達と音を合わせて、演奏を工夫する。 (学・人) 友達と一緒に演奏することを楽しみ、協力しようとする。	(知・技) 友達の楽器の音を聴いて、音を合わせて演奏している。 (思・判・表) 友達と音を合わせて、演奏を工夫している。 (主学) 友達と一緒に演奏することを楽しみ、協力しようとしている。	合奏しよう(器楽) 題材:オーラリー、和太鼓、卒業式の歌	友達の音を聴く、音を出すタイミングを合わせる、簡単な楽譜を見て演奏する、発表する
		(知及技) 1年間で学んだ歌唱技能を生かして歌う。 (思判表力) 1年間の学習を振り返り、思いを込めて歌う。 (学・人) 1年間の成長を感じながら、進んで歌おうとする。	(知・技) 歌詞やリズムを意識し、教師や友達と一緒に歌っている。 (思・判・表) 思いを込めて、歌い方を工夫している。 (主学) 1年間の成長を感じながら、進んで歌おうとしている。	歌でなかよし(歌唱・まとめ) 題材:国歌、校歌、卒業式・入学式の歌、1年間のまとめ	1年間で歌った歌を振り返る、卒業式・入学式の歌を練習する、国歌や校歌を歌う、発表する
		留意点 引継ぎ等 ・視覚支援:歌詞カード、イラスト、写真、動画などを活用し、イメージをもちやすくする。 ・繰り返し学習:同じ楽曲や活動を複数回扱い、定着を図る。 ・スモールステップ:児童の実態に応じて、活動を細かく分けて段階的に指導する。 ・身体表現の活用:音楽を身体で感じられるよう、身振りやサインを多く取り入れる。 ・ICT機器の活用:タブレット端末やアプリを活用し、音楽に対する興味・関心を高める。 ・日常生活との関連:季節の歌や行事の歌を扱い、生活との結びつきを意識させる。 ・個別の配慮:個々の実態に応じて、活動内容や支援を調整する。 ・安全への配慮:楽器の取り扱いや身体表現の際の安全に配慮する。 ・引継ぎ:次年度への引継ぎとして、児童の成長や課題、効果的だった支援方法を記録する。			

令和 8 年度 小学部 6 年（Ⅱ課程） 図画工作科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部6年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) クレヨン・絵の具・はさみ・のり・粘土などの用具の基本的な使い方を身に付け、形・色・材料の特徴に気付くことができる。また、造形的な視点（形・色・質感・空間など）について気付きを深める。 (思判表力) 自分の思いや感じたことをもとに、材料や用具を選んだり工夫したりして造形的な活動に取り組む力を育てる。また、自分や友達の作品のよさや面白さ、造形的な特徴に気付くことができる。 (学・人) 造形活動に楽しんで関わり、自分の作品や友達の作品のよさを感じ取ったり、進んで表現・鑑賞しようとする態度を育てる。作品の掲示を通じて達成感・自己肯定感を育む。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	【知及技】 紙をやぶいたり重ねたりする感触を知る 【思判表力】 自由にやぶいた形からイメージを広げる 【学・人】 紙をやぶく活動を楽しんで行う	(知・技)やぶく感触に気付き活動できるか (思・判・表)形からイメージを広げられるか (主学)進んでやぶいて並べられるか	やぶいてあそぼう (造形遊び)	新聞紙・折り紙・画用紙を自由にやぶいて並べる→台紙に貼る→作品を見せ合う 【配慮】 手の感触が苦手な場合は手袋使用可。破る大きさの見本を示す。
		【知及技】 クレヨンの持ち方・使い方を知る 【思判表力】 好きなものを思い浮かべて描く 【学・人】 自分の好きなものを描こうとする	(知・技)クレヨンを握って線や形を描けるか (思・判・表)好きなものを画面に表せるか (主学)楽しんで描こうとするか	すきなものをかこう (クレヨン自由画)	大きな画用紙にクレヨンで自由画→写真で記録→みんなで見せ合い 【配慮】 太いクレヨンや三角クレヨン使用。好きなものの写真を参考に提示。
		【知及技】 野菜・スポンジに絵の具をつけてスタンプする技法を知る 【思判表力】 色や形の組み合わせを楽しむ 【学・人】 繰り返しスタンプすることを楽しむ	(知・技)スタンプの基本操作ができるか (思・判・表)色や並べ方を工夫できるか (主学)意欲的にスタンプしているか	スタンプあそび(型押し造形遊び)	野菜(レンコン・ピーマン)・スポンジ・指などで色のスタンプ→大きな紙に自由に押す 【配慮】 絵の具の量・色の数を調整。汚れ防止エプロン着用。手順写真カード提示。
		【知及技】 絵の具の基本的な使い方(筆でのせる)を知る 【思判表力】 春の花や生き物を見てイメージを広げて描く 【学・人】 春の自然に興味をもって描こうとする	(知・技)筆に絵の具をつけて描けるか (思・判・表)春の色・形を画面に表せるか (主学)春の花・生き物に関心をもつか	はるのえをかこう (絵の具で春の絵)	校庭の花・生き物の写真鑑賞→下描き(クレヨン)→絵の具で彩色→掲示 【配慮】 混色は2色程度に限定。水の量を事前に調整。絵の具の扱い手順カード活用。
		【知及技】 折り紙の折り方の基本(半分・三角)を知る 【思判表力】 折った形を見て何に見えるか考える 【学・人】 折り紙を折ることを楽しむ	(知・技)基本の折り方ができるか (思・判・表)折った形から発想できるか (主学)折ることを楽しんでいるか	おりがみであそぼう (折り紙工作)	折り紙でかえる・花など簡単な形を折る→台紙に貼って飾る→教室に掲示 【配慮】 手順を一工程ずつ示す。折り目の目印シール活用。個別の手伝いあり。
		【知及技】 ふき流し・にじみなど雨のイメージを表す技法を知る 【思判表力】 雨の音・感触からイメージを広げる 【学・人】 梅雨の自然に興味をもって表現する	(知・技)にじみ・ふき流し技法を試せるか (思・判・表)雨のイメージを色や形で表せるか (主学)雨の絵を楽しんで描いているか	あめのひのえ(にじみ・ふき流し表現)	雨音を聞く→水彩でにじみ・ふき流し表現→カタツムリなど追加→掲示 【配慮】 水が多い活動のためテーブルカバー準備。ストローでふく技法は個別対応。
		【知及技】 うちわ・風鈴飾りの作り方を知る 【思判表力】 夏らしい色・形を使って飾りを工夫する 【学・人】 夏の作品作りを楽しむ	(知・技)道具を使って作れるか (思・判・表)夏らしい装飾を工夫できるか (主学)完成を目指して取り組むか	なつをかんじてつくりよう(夏の工作：うちわ)	白い紙うちわに好きな絵を描く／貼る→飾り付け→作品を持ち帰る 【配慮】 完成形の見本を複数提示。絵を描く・シール貼り・スタンプ等から選択。
		【知及技】 作品には様々な色・形があることに気付く 【思判表力】 友達の作品の好きなところを見つけて伝える 【学・人】 友達の作品に関心をもって見ようとする	(知・技)作品の色・形の違いに気付くか (思・判・表)好きな作品を選んで理由を言えるか (主学)友達の作品を見る姿勢があるか	みんなのさくひんをみよう①(1学期鑑賞)	1学期の作品をギャラリー展示→好きな作品に票を入れる→作者が一言コメント 【配慮】 コメントは短い言葉でよい。「好き」「かわいい」程度でOK。写真カードも活用。

2 学期	30	【知及技】粘土の感触・基本的な扱い方を知る 【思判表力】粘土の形の変化からイメージを広げる 【学・人】粘土遊びを楽しんで行う	(知・技)粘土を握る・丸める・伸ばす動作ができるか (思・判・表)形の変化を楽しみイメージを話せるか (主学)粘土に積極的に関わるか	ねんどであそぼう (粘土造形遊び)	油粘土を使って丸める・伸ばす・つまむ→好きな形に→作品の写真を撮る 【配慮】感触が苦手な場合はビニール袋越しに体験。粘土板・ヘラなど道具活用。
		【知及技】秋の色（橙・茶・黄）をパレットで混色する 【思判表力】秋の自然を観察してイメージを描く 【学・人】秋の色や形に興味をもって描く	(知・技)秋の色を混色して使えるか (思・判・表)秋の自然の特徴を絵に表せるか (主学)秋の自然を見て感じることを描こうとするか	あきのえをかこう (秋の色・混色)	校庭の葉・木の実を観察→スケッチ→絵の具で彩色→秋の掲示板に飾る 【配慮】実物・写真の両方で参考を示す。混色は2色まで。色カードを参考に。
		【知及技】テープ・のりで箱をつなぐ・積む技法を知る 【思判表力】箱の形・大小を使って作りたいものを工夫する 【学・人】廃材を使った立体作りを楽しむ	(知・技)テープ・のりを使って箱をつなげるか (思・判・表)作りたいものをイメージして形を選ぶか (主学)廃材工作に意欲的に取り組むか	はこでつくろう（廃材立体工作）	様々な大きさの箱・筒を選ぶ→積む・つなぐ→色を塗る・飾る→発表 【配慮】ガムテープの扱いは個別支援。完成例（ロボット・家・乗り物など）の写真を複数提示。
		【知及技】動きを表す線・形の描き方を知る 【思判表力】運動会の思い出・楽しかった場面を描く 【学・人】運動会の体験を絵に表すことを楽しむ	(知・技)動きのある形を描けるか (思・判・表)思い出の場面を選んで描けるか (主学)経験を絵で表す意欲があるか	うんどうかいのえ (運動会の思い出画)	運動会の写真を見ながら思い出し→印象的な場面をクレヨン・絵の具で描く 【配慮】写真や動画で運動会を振り返ってから作業開始。動きのある下描きの見本を提示。
		【知及技】木の実・葉などの自然素材の特徴に気付く 【思判表力】素材を組み合わせて形や模様を作る 【学・人】自然素材に触れながら造形を楽しむ	(知・技)素材の違い（かたさ・形）に気付くか (思・判・表)素材を組み合わせて表現できるか (主学)素材に触れることを楽しんでいるか	あきのそざいであそぼう（木の実コラージュ）	校庭で葉・木の実・枝を集める→台紙に並べてコラージュ→のりで固定→鑑賞 【配慮】アレルギー確認（植物・のり）。自然素材は事前に乾燥・消毒。選べる素材を豊富に用意。
		【知及技】絵本・美術作品には様々な表現方法があることを知る 【思判表力】作品を見て感じたことを言葉や指差しで表す 【学・人】美術作品に興味をもって鑑賞する	(知・技)様々な表現方法に気付くか (思・判・表)感じたことを表現できるか (主学)作品を最後まで見ようとするか	きかんしゃをみよう (美術作品の鑑賞)	絵本（スイミー・くれよんのくろくん等）の絵を大型テレビで鑑賞→感想を共有 【配慮】プロジェクター・大型モニター活用。発言できない場合は「好きな絵を選ぶ」活動を代替。
		【知及技】袋や封筒を飾る（スタンプ・描く・貼る）技法を知る 【思判表力】贈る相手を思い浮かべてデザインを工夫する 【学・人】大切な人に贈る喜びをもって作る	(知・技)飾る技法を使えるか (思・判・表)相手を意識してデザインできるか (主学)プレゼント作りを楽しんでいるか	プレゼントをつくろう（贈り物工作）	封筒・袋・箱のいずれかを選ぶ→スタンプ・絵・シールで飾る→ラッピング→渡す 【配慮】選択肢を絞る（封筒か袋か）。飾り方の手順カード提示。誰へのプレゼントか事前確認。
3 学期	16	【知及技】白・水色・銀色など冬の色の特徴を知る 【思判表力】雪・冬の行事をイメージして描く 【学・人】冬の季節感を感じながら絵を描く	(知・技)冬の色を選んで使えるか (思・判・表)冬のイメージを画面に表せるか (主学)冬の景色に興味をもって描くか	ふゆのえをかこう (冬の景色画)	冬の写真（雪・クリスマス等）を鑑賞→クレヨン・白い絵の具で冬の絵を描く→掲示 【配慮】白い画用紙に白いクレヨンは見えにくいので、紺・黒の画用紙も選択肢に。
		【知及技】粘土を丸める・つまむ・のばすなど形を作る技法を知る 【思判表力】好きな動物や食べ物を粘土で表す 【学・人】形を作る楽しさを感じながら取り組む	(知・技)丸める・つまむなど基本操作ができるか (思・判・表)作りたい形を考えて表せるか (主学)粘土での表現を楽しんでいるか	ねんどでかたちをつくろう（動物・立体造形）	見本の動物・食べ物の写真を見る→油粘土で動物や好きなものを作る→台座に飾る 【配慮】複数の手順写真カード提示。ヘラや型抜きツール活用。難しい部分は支援員と一緒に。
		【知及技】凧・こまの基本的な作り方を知る 【思判表力】正月らしい模様・色をデザインする 【学・人】正月の遊び道具作りを楽しむ	(知・技)作り方の手順を理解できるか (思・判・表)模様や色を自分なりに選んで描けるか (主学)完成して遊ぶことを楽しみに作れるか	たこやこまをつくろう（正月遊び道具の工作）	ビニール凧またはこままきを選ぶ→絵を描いて飾る→実際に遊ぶ→感想を共有 【配慮】どちらを作るか事前に選択。凧系の取り扱い支援員がサポート。外で遊ぶ機会を設ける。
		【知及技】鏡を使って自分の顔の特徴（目・鼻・口など）を観察する 【思判表力】自分の顔の特徴をとらえて表現する 【学・人】自分の顔に関心をもって描く	(知・技)顔のパーツを確認して描けるか (思・判・表)特徴をとらえて表現できるか (主学)自画像を描こうとする意欲があるか	じぶんのかおをかこう（鏡を見て自画像）	鏡で自分の顔を観察→顔の輪郭から描く→クレヨン・絵の具で彩色→ポートフォリオに 【配慮】小さい鏡を個人用に準備。「顔の部品カード」で確認。1年のはじめと比べる機会を設ける。
		【知及技】紙をちぎる・破く・折るなど手の動きを知る 【思判表力】ちぎった形から発想し、組み合わせて作品にする 【学・人】指先でちぎる造形遊びを楽しむ	(知・技)紙をちぎって貼ることができるか (思・判・表)形を組み合わせて表現できるか (主学)ちぎり絵の活動を楽しんでいるか	ちぎりえであそぼう（ちぎり絵・貼り絵）	様々な色・質感の紙を用意→ちぎって台紙に並べる→動物・風景などを作る→展示 【配慮】指先の力が弱い場合は先に切り込みを入れる。和紙・包み紙など多様な素材を準備。

		【知及技】1年間に使った材料・技法を振り返る 【思判表力】思い出の場面や好きな活動を選んで表現する 【学・人】1年間の成長を振り返り、次の年への意欲をもつ	(知・技)1年間の技法を思い出せるか (思・判・表)思い出の場面を選んで表せるか (主学)1年の成長を感じながら取り組むか	1 ねんのおもいでさくひん（思い出の作品制作）	1年間の写真をスライドで振り返る→好きな場面・技法で「思い出作品」を制作 【配慮】タブレットで過去作品の写真をしながら活動。使いたい材料を自分で選ばせる。
		【知及技】1年間の自分の成長（技法・表現の変化）に気付く 【思判表力】友達の作品のよいところを見つけて伝える 【学・人】1年間の学びを振り返り、達成感をもつ	(知・技)自分の作品の変化に気付くか (思・判・表)友達の作品のよさを言えるか (主学)達成感をもって鑑賞しているか	みんなのさくひんをみよう②（年間まとめ鑑賞）	1年間の全作品ギャラリー展示→互いに鑑賞→一言カードに感想記入→修了証授与 【配慮】「よかったよカード」など書き込みやすいフォーマット準備。保護者への見せ場も設定。
	留意点 引継ぎ等	【指導上の留意点】 ・【視覚的支援】完成例の写真・手順カード・見本作品を毎時間提示し、見通しをもって活動できるようにする。 ・【感覚への配慮】粘土・絵の具など感触が苦手な場合は手袋使用可。素材選択の自由度を確保する。 ・【協同製作】部分的に小集団での制作を取り入れ、友達と一緒に作る楽しさを経験させる。 ・【過程を重視】完成形より制作の過程・体験を大切にする。途中でも十分に認める。 ・【ICT活用】タブレットで作品を随時撮影し、振り返りや友達との共有に活用する。 ・【掲示・展示】完成した作品は必ず掲示・展示し、達成感・自己肯定感を育む。 ・【用具の調整】太いクレヨン・スポンジブラシ等個々の実態に合わせた用具を選択する。 ・【個別の指導計画との連動】個別目標に沿った支援の工夫を各題材に組み込む。 生活科・音楽科などとの合科的・関連的な指導を意識し、季節行事に合わせた題材設定を行う。 作品は学期末にポートフォリオにまとめ、保護者への連絡や年度引継ぎに活用する。 次年度担当者への引継ぎ：各生徒の得意な表現方法・苦手な感触素材・用具の調整内容を記録すること。 【引継ぎ事項】 ・各児童の到達度と支援方法を記録し、次年度に引き継ぐ。 ・特に配慮が必要な内容や効果的だった教材・方法を申し送る。 ・保護者との連携状況や家庭での取り組みについても情報共有する。			

令和 8 年度 小学部 6 年（Ⅱ課程） 体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部 6 年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けるとともに、健康や身体の変化について知り、健康な生活ができるようにする。 (思判表力) 基本的な運動の楽しみ方や健康な生活の仕方について工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝える力を養う。 (学・人) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとするとともに、自分から健康に必要な事柄をしようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技) 多様な動きや全力での走り方を理解している。 (思判表力) 速く走る工夫を考え、表現している。 (学・人)きまりを守り仲良く運動しようとする。	(知・技) 多様な動きや全力での走り方を理解している。 (思・判・表) 速く走る工夫を考え、表現している。 (主学) きまりを守り仲良く運動しようとする。	体づくり運動 短距離走	・体ほぐしの運動（リズム歩行等） ・50m走、いろいろな姿勢からの走り出し 【留意点】6学年間を通じて取り扱う。個々の技能の程度に応じた目標設定を行う。
		(知及技) バトンパスやマットでの回転の技を身に付ける。 (思判表力) スムーズなパスや回転のコツを他者に伝える。 (学・人)場や用具（マット）の安全に気を付ける。	(知・技) バトンパスやマットでの回転の技を身に付ける。 (思・判・表) スムーズなパスや回転のコツを他者に伝える。 (主学) 場や用具（マット）の安全に気を付ける。	リレー マット運動	・バトンパスの練習、チーム対抗リレー ・連続前転、後転、開脚前転 【留意点】友達と関わる動きを取り入れる。マットの設置・片付けの安全指導を徹底する。
		(知及技) 水中での浮き方や病気予防の方法を知る。 (思判表力) 泳ぎ方の工夫や健康生活について他者に伝える。 (学・人)自分の体調を把握し、健康に必要な事柄を行う。	(知・技) 水中での浮き方や病気予防の方法を知る。 (思・判・表) 泳ぎ方の工夫や健康生活について他者に伝える。 (主学) 自分の体調を把握し、健康に必要な事柄を行う。	水の中での運動 保健：病気の予防	・水中ゲーム（石拾い、輪くぐり）、伏し浮き ・正しい手洗い、うがい、汗の始末の学習 【留意点】水辺活動の安全に十分留意する。生活科（基本的習慣）との関連
		(知及技) バタ足などの泳法や暑さ対策を身に付ける。 (思判表力) 楽しみ方を工夫し、安全な生活を考える。 (学・人)自分から進んで水泳や健康管理に取り組む。	(知・技) バタ足などの泳法や暑さ対策を身に付ける。 (思・判・表) 楽しみ方を工夫し、安全な生活を考える。 (主学) 自分から進んで水泳や健康管理に取り組む。	水の中での運動 保健：夏の健康	・バタ足、クロールや平泳ぎのストローク練習 ・熱中症予防、適切な衣服の調節 【留意点】夏季の負担過重にならない範囲で実施する。泳ぎの苦手な児童へ配慮する。
2 学期	30	(知及技) 多様な動きや跳び箱の基本的な技を知る。 (思判表力) 跳び方の課題に気付き、解決法を工夫する。 (学・人)友達と仲よく、場や器械の安全に気を付ける。	(知・技) 多様な動きや跳び箱の基本的な技を知る。 (思・判・表) 跳び方の課題に気付き、解決法を工夫する。 (主学) 友達と仲よく、場や器械の安全に気を付ける。	体づくり運動 跳び箱運動	・力比べ（なわ引き）、友達との協力運動 ・またぎ乗り・下り、開脚跳び 【留意点】オリンピック・パラリンピックと関連させ「知る」活動も入れる。補助の仕方を段階的に指導する。
		(知及技) ハードル等の越え方、投捕球の技能を得る。 (思判表力) 効率的な動きや投げ方を工夫し伝える。 (学・人)ルールを守り、最後まで楽しく運動する。	(知・技) ハードル等の越え方、投捕球の技能を得る。 (思・判・表) 効率的な動きや投げ方を工夫し伝える。 (主学) ルールを守り、最後まで楽しく運動する。	障害物走 ボール投げ・捕り	・小型ハードル走、リズムカルな走り越し ・二人組でのキャッチボール、的当てゲーム 【留意点】運動に意欲的に取り組まない児童への声掛けを工夫する。ボール
		(知及技) 長い距離の走り方やリズムに乗った動きを知る。 (思判表力) ペース配分やダンスの表現を工夫する。 (学・人)自己の目標に向かって粘り強く取り組む。	(知・技) 長い距離の走り方やリズムに乗った動きを知る。 (思・判・表) ペース配分やダンスの表現を工夫する。 (主学) 自己の目標に向かって粘り強く取り組む。	持久走 リズムダンス	・3～4分間程度の一定速度でのかけ足 ・軽快なロックのリズムにのった自由な表現 【留意点】健康状態（呼吸器等）の把握を密に行う。変声期等の身体の変化への配慮を行う。
		(知及技) ドリブル・シュートや伝統的な踊りを知る。 (思判表力) ゲームの楽しみ方や踊りの表現を工夫する。 (学・人)仲間の表現を認め、協力して運動する。	(知・技) ドリブル・シュートや伝統的な踊りを知る。 (思・判・表) ゲームの楽しみ方や踊りの表現を工夫する。 (主学) 仲間の表現を認め、協力して運動する。	サッカー形式ゲーム 表現：民踊	・ドリブル、シュートゲーム、ミニサッカー ・日本の民踊、鳴子などを用いたリズム表現 【留意点】「すること、見ること、応援すること」を体験させる。伝統的な

3 学期	16	(知及技) なわとびの連続跳び、鉄棒の技、手当法を知る。 (思判表力) 技のコツや健康の工夫を他者に伝える。 (学・人) 場や用具の安全に気を付け、自分から活動する。	(知・技) なわとびの連続跳び、鉄棒の技、手当法を知る。 (思・判・表) 技のコツや健康の工夫を他者に伝える。 (主学) 場や用具の安全に気を付け、自分から活動する。	なわとび運動 鉄棒運動 保健：けがの手当て	・短なわ、長なわ（大波・小波）、連続両足跳び ・前回し下り、補助逆上がり、簡単な手当て 【留意点】冬期の寒冷下での準備運動を徹底する。けがをした際に教師に知
		(知及技) パスやシュート、チームに沿った動きを知る。 (思判表力) 作戦や表現の仕方を工夫し、他者に伝える。 (学・人) 友達と仲よく協力し、役割を果たす。	(知・技) パスやシュート、チームに沿った動きを知る。 (思・判・表) 作戦や表現の仕方を工夫し、他者に伝える。 (主学) 友達と仲よく協力し、役割を果たす。	バスケット形式ゲーム 表現：創作	・シュート、ゴールに運ぶゲーム（ポートボール形式） ・乗り物や生活動作（洗濯等）の真似、自由表現 【留意点】中学部への接続を意識し、より集団でのルール遵守を促す。羞恥
		(知及技) 総合的な運動技能、身体の成長知識を得る。 (思判表力) 成長した点や健康の課題を他者に伝える。 (学・人) 生涯のスポーツライフに向け、明るく運動する。	(知・技) 総合的な運動技能、身体の成長知識を得る。 (思・判・表) 成長した点や健康の課題を他者に伝える。 (主学) 生涯のスポーツライフに向け、明るく運動する。	サーキット運動 保健：身体の成長	・これまでの種目を組み合わせたサーキット ・身長・体重の推移確認、心身の健康のまとめ 【留意点】自己の課題を克服した喜びを味わわせる。保健室と連携し、心と
留意点 引継ぎ等		【指導上の留意点】 ・6学年間を通じて取り扱い、個々の技能の程度に応じた目標設定を行う。 ・友達と関わる動き（おんぶ、手つなぎ）を取り入れる。 ・水辺活動の安全に十分留意する。 ・健康状態（呼吸器等）の把握を密に行う。変声期等の身体の変化への配慮を行う。 ・中学部への接続を意識し、より集団でのルール遵守を促す。 ・保健室と連携し、心と体の調子の理解を図る。 【引継ぎ事項】 ・各児童の技能の到達度と個別支援内容を記録し、次年度担当者に引き継ぐ。 ・特に配慮が必要な運動種目・体調管理上の注意事項を申し送る。 ・保護者との連携状況や家庭での運動習慣についても情報共有する。			

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部 6 年		小学 道徳 ゆたかな心 光文書院

目標：(知及技)知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。			
学期	時数	ねらい	評価の視点 ◆多面的・多角的な見方 ◆自分自身との関わり	単元・題材名	単元・題材の活動内容
Ⅰ学期	12	夢をもち、自分から進んで目標を立てることによってやる気や自信などがわき上がることが分かり、夢に向かって実践していこうとする。	◆三浦さんの生き方から、夢や目標を達成させるためにさまざまな視点から考えを広げられるようになったか。 ◆自分の夢や目標に向かって、自分の考えや生活を振り返って考えられるようになったか。	夢に向かって ー三浦雄一郎ー	1 夢をもち続けることは、なぜ、大切なのかを話し合う。 2 「夢に向かって ー三浦雄一郎ー」を読み、夢を叶えるために大切なことは何かを考える。 3 三浦さんの生き方から学んだことをもとに、自分の夢を実現するためにはどうしたらよいかを考える。
		自分たちの生活は多くの人に支えられていることを知り、感謝し、それに応えようとする。	◆休まず立っている松井さんについて話し合う中で、さまざまな視点から松井さんの思いについて考えを深められるようになったか。 ◆自分たちの生活はいろいろな人に支えられていることを、感じる事ができるようになったか。	松井さんのえがお	1 感謝している人のことを思い出して、話し合う。 2 「松井さんのえがお」を読み、自分たちを支えてくれている人の思いについて話し合う。 3 自分たちがすべきことについて考える。
		礼儀の意味が分かり、礼儀正しく真心をもって人に接しようとする。	◆ゆうや、おじいちゃん、さおりの立場を話し合う中で、本当の礼儀に対する考えを深められるようになったか。 ◆本当の礼儀について、自分のこれまでの生活を振り返って考えられるようになったか。	温かいおまんじゅう	1 「本当の礼儀」とはどのような礼儀か考える。 2 「温かいおまんじゅう」を読み、「本当の礼儀」について考える。 3 「本当の礼儀」についてまとめる。
		「マナー」と「ルール」の違いを考えるを通して、法やきまりの意義を理解し、進んでそれらを守るうとする。	◆マナーとルールの違いについて、それぞれの視点から考えることができるようになったか。 ◆自分の生活を振り返り、自分もルールからマナーに高めていこうと考えられるようになったか。	「マナーからルールへ、そしてマナーへ」	1 マナーとルールの違いについて話し合う。 2 「マナーからルールへ、そしてマナーへ」を読み、マナーとルールについて考える。 3 今日の学習を、自分の言葉でまとめる。
		自分の考えや意見を相手に伝えると共に、謙虚な心で相手の立場を尊重しようとする。	◆分かり合うために大切なことについて、自分の考えや意見を相手に伝えるだけでなく、謙虚な心をもって相手の立場を尊重することのよさが分かったか。 ◆分かり合うために大切なことについて自分ごととして考え、謙虚な心をもって相手の立場を尊重することのよさを感じることができるようになったか。	修学旅行の自由行動	1 これまでの話し合いの様子について考える。 2 「修学旅行の自由行動」を読み、違う意見を受け入れることのよさについて考える。 3 学習のまとめをし、次の活動につなげる。
		家族の自分に対する思いや願いを知り、家族の一員として家族のために進んで役に立とうとする。	◆「いつ頃」「だれが」「どのような形で」自分を成長させてくれていたかなど、これまでの自分に対する家族の思いを想像して、家族のことについて考えられたか。 ◆自分にとっての家族とは何かについて考え、家族を大切にするために何ができるかを考えられるようになったか。	きいちゃん	1 家族に対する思いについて話し合う。 2 「きいちゃん」を読み、家族の思いや家族の大切さについて考える。 3 家族についての思いを深める。

		安全に気をつけることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心がけようとする。	◆話し合い活動の中で、人間には「弱い心」があることに気づき、「弱い心」に流された生活の影響に目を向けて考えられるようになったか。 ◆「弱い心」に流された生活について自分ごととして考え、「強い心」で節制することの大切さを感じることができるようになったか。	本当にだいじょうぶ？	1 「弱い心」について考える。 2 「本当にだいじょうぶ？」を読み、「弱い心」をどのようにしていったらよいかについて考える。 3 自分の生活を振り返り、見直すことはないか考える。
		公共の役に立つことに意義や喜びを感じ、社会の一員としてできることを進んで行おうとする。	◆公共のために働くことのよさについて、さまざまな視点から考えられるようになったか。 ◆公共のために働くよさについて、自分のこれまでの生活を振り返りながら考えられるようになったか。	広村堤防の清掃ボランティア	1 ボランティアの意義について考える。 2 「広村堤防の清掃ボランティア」を読み、公共のために働くことのよさについて考える。 3 ボランティアの意義について、再度考えてまとめる。
		植物の生命の営みから自然の命のつながりが分かり、地球に存在しているたくさんの生命の営みを大切にしながら、共に生きていこうとする。	◆厳しい自然の中で生き抜くエゾマツの秘密から、自然の偉大さについて考えを広げられるようになったか。 ◆これまでの経験を振り返り、自然の偉大さについて考えを深められるようになったか。	自然のゆりかご	1 自然の偉大さについて話し合う。 2 「自然のゆりかご」を読み、自然の偉大さについて考える。 3 自然の偉大さについて自分の言葉でまとめる。
		みんなが気持ちよく生活するために、社会生活上のきまりを守るだけでなく、自分を律し、マナーを大切に生活する。	◆みんなが気持ちよく過ごすためにはどうしたらよいか、道子やクラスみんな、それぞれの立場から考えられたか。 ◆みんなが気持ちよく過ごすために自分ができることを考えられるようになったか。	いらなくなったきまり	1 クラスのきまりについて話し合う。 2 「いらなくなったきまり」を読み、クラスのみんなが気持ちよく生活するために大切なことについて考える。 3 本時の学習から、自分の考えをまとめる。
		父母、祖父母に対する敬愛の念を深め、自分もみんなの幸せのために家族を支えていこうとする。	◆「ぼく」や父、祖父母の言動を通して、それぞれの立場に立ったり、それぞれの思いを想像したりしてものごとを考えられるようになったか。 ◆学習を通して、自分の家族のよさを振り返り、家族への思いを深めているか。	お父さんの横顔	1 祖父母に対する思いについて話し合う。 2 「お父さんの横顔」を読み、家族について話し合う。 3 家族についての思いを深める。
		日本に古くから伝わる伝統や文化のよさが分かり、受け継いでいこうとする。	◆伝統を生んだ先人の知恵や、伝統を受け継いできた先人の思いを感じ取ることができたか。 ◆身近な伝統や文化を調べたり、受け継いだりすることのよさを感じることができたか。	棚田と人をつなぐ	1 受け継がれている伝統や文化について考える。 2 「棚田と人をつなぐ」を読み、伝統や文化を受け継ぐよさや大切さについて考える。 3 伝統や文化を受け継いでいくために、自分たちにできることを考える。
		誠実に、明るい心で楽しく生活しようとする。	◆「まじめ」ということについて、「仕事などに一生懸命取り組むこと」や「相手のために真心を込めて接すること」という視点から考え、誠実であることのよさについて感じられるようになったか。 ◆自分のこれまでの、人、もの、こととの接し方・取り組み方を振り返り、自分にも誠実な心があることを認め、誠実に明るい心で生活していくことの大切さを感じられるようになったか。	本屋のお姉さん	1 「まじめ」という言葉から連想することを話し合う。 2 「本屋のお姉さん」を読み、「誠実」について考える。 3 まじめに取り組んだり、心を込めて行ったりしたことを振り返り、これからの行動を考える。
		より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、くじけずにやり遂げようとする。	◆目標に向かってやり抜くことについてさまざまな視点から考えられるようになったか。 ◆鑑真と自分とを重ねて考え、目標に向かってくじけずにやり遂げることの大切さを考えられるようになったか。	鑑真和上	1 目標に向かって最後までやり抜くためには、どうすればよいかを考える。 2 「鑑真和上」を読み、諦めない心について考える。 3 自分の目標に向かって、最後までやり遂げるにはどうすればよいかを考える。
		他国の人々と互いに認め合って生きるすばらしさが分かり、自らも世界の人々と共に生きていこうとする。	◆他国の人々と互いに認め合って暮らすすばらしさや、そのために大切なことについて、理解を深められたか。 ◆自国の文化に誇りをもつことの意味が分かり、世界の人々と共に生きていくことを自分ごととして考えられたか。	ハスの花のように ◎共生	1 他国の人と生活するうえで大切なことについて考える。 2 「ハスの花のように」を読み、他国の人と共に生きるために大切なことについて考える。 3 他国の人々と共に生きていくために大切にしていきたいことをまとめる。
		郷土やわが国の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。	◆「日本のよさ」について、友達と交流する中で、「文化」「自然」「心」「行事」などをキーワードにしてさまざまな視点から捉えることができたか。 ◆自分も、「日本のよさ」を心からよいと思う感性があることが分かり、それを大切に育んでいきたいという気持ちをもつことができたか。	これが日本	1 自分が思う日本のよさを発表する。 2 「これが日本」を読み、日本の伝統や文化のよさについて話し合う。 3 日本のよさを守るために、自分たちにできることをまとめる。

2 学 期	15	謙虚な心を持ち、自分と異なる意見や立場を広い心で受け止め、互いを理解しようとする。	◆サムとピエロ、それぞれの視点から、広い心をもつ大切さを考えられるようになったか。 ◆自分と異なる考え方や立場の相手を、理解しようとする考え方を深められるようになったか。	ブランコ乗りとピエロ	1 「広い心」について話し合う。 2 「ブランコ乗りとピエロ」を読み、「広い心」について考える。 3 考え、話し合ったことをまとめる。
		人間の心の中には弱さを認めながらもよりよく生きようとする強さがあることに感動し、その心の気高さに畏敬の念をもつ。	◆了海の姿や実之助の行動から、美しい心について考えられるようになったか。 ◆美しい心について、自分のこれまでの生活を振り返って考えられるようになったか。	青の洞門	1 「美しいもの」について話し合う。 2 「青の洞門」を読み、人間の心の美しさについて考える。 3 人間の心の美しさについて、自分の考えをまとめる。
		親切な行為は、人を感動させる力があることが分かり、自分もそのような心をもとに親切にしようとする。	◆相手を心から思う温かな心を、仮設住宅や広島の人々、それぞれの立場から考えられるようになったか。 ◆相手を心から思う温かな心の広がり自分たちの生活の中にもあることが分かったか。	命のおにぎり	1 人の温かさを感じる時はどのようなときか話し合う。 2 「命のおにぎり」を読み、親切な行為と温かな心の間係を考へる。 3 本時で学んだことを自分の言葉でまとめる。
		働くことのよさや大切さを知ると共に、自らも公共のために役立とうとする気持ちをもつ。	◆清掃員たちが掃除している思いについて、「自分の仕事の役割を果たしたい」「お客様や社会の役に立ちたい」といった視点から、働くことや社会に奉仕することの意義について考えられるようになったか。 ◆自分たちが学校生活で行っている仕事を振り返りながら、働いたり奉仕したりする人に共感し、自分もみんなのためにできることをする大切さを感じられるようになったか。	世界がおどろく七分間清掃	1 私たちの周りで働いている人が、どのような思いで働いているのか、話し合う。 2 「世界がおどろく七分間清掃」を読み、働くことの意義について考える。 3 私たちの周りで働いている人たちの思いについて話し合い、自分たちにもできることを考える。
		人のためにできることをし、人と共に喜ぶことが自分の幸せにつながる生き方をしている人がいることが分かり、自分も周りにいる人たちと共によりよく生きようとする。	◆目の前の人たちのために自分ができることをし、人と共に喜ぶことが自分の幸せにつながる生き方について、中村さんと現地の人たちのそれぞれの立場や関係の変化から考えることができたか。 ◆目の前の人たちのために自分ができることをし、人と共に喜ぶことが自分の幸せにつながる生き方を、中村さんや現地の人たちの思いを想像したり、自分自身の経験を振り返ったりしながら考えることができたか。	一隅を照らす 一中村哲一	1 自分が喜びを感じる時はどのようなときかを考える。 2 「一隅を照らす 一中村哲一」を読み、喜びを感じる生き方について話し合う。 3 喜びを感じる生き方について考える。
		自分の特徴にはどんなものがあるのかを考え、短所を改め長所を伸ばし、自分を成長させようとする。	◆長所を伸ばすことについて、勇太やA選手の記事から視点を広げて考えられるようになったか。 ◆短所を改め長所を伸ばすことについて、自分のこれまでの生活を振り返って考えられるようになったか。	勇太への宿題	1 長所と短所について話し合う。 2 「勇太への宿題」を読み、長所と短所について考える。 3 自分の長所や短所について考える。
		自然破壊の原因を理解し、自然を守るためにできることを考え、自分なりの方法で自然環境を大切にす。	◆自然を守るためにはきまりなどをつくるだけでなく、自分の身近なところで実践していくことの大切さについても考えられるようになったか。 ◆自分なりの方法で自然環境を大切にしようと考えられるようになったか。	地球があぶない	1 教科書P.130～131の写真をしながら、自然を守ることにについて話し合う。 2 「地球があぶない」を読み、どうすれば自然を守ることができるかについて考える。 3 自然を守ることにについて話し合い、自分の考えをまとめる。
		命が人とのつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、限りある命を懸命に生きようとする。	◆命について、連続性、有限性、関係性などのさまざまな視点から考えを深めることができたか。 ◆自分の命を大切にし、輝かせて生きていこうとする気持ちをもつことができたか。	生命のメッセージ ◆命	1 「限りある命」について考える。 2 「生命のメッセージ」を読み、かけがえのない命について考える。 3 自分は、どのようにして命を輝かせたいかを考える。
		かけがえのない命の大切さを理解し、命を輝かせて生きようとする。	◆瑠璃さんがトランペットを演奏するときの気持ちや瑠璃さんの生き方について友達と話し合うことで、命の捉え方を深めることができたか。 ◆自分もかけがえのない命を大切にし、命を輝かせて生きようとする意欲が高まったか。	負けないで ◆命	1 「命をかがやかせる」という生き方について考える。 2 「負けないで」を読み、命を輝かせて生きるとはどういうことかについて考える。 3 今日の学習から学んだことをまとめる。
		親切な行為は、相手のことを自分のことのように大切に思う心から生まれることが分かり、自分にできる精一杯のことをしようとする。	◆ベアマンとスウに共通する心をもとに、相手を心から思う真の思いやりについて、友達の意見をもとに自分の考えを深めることができたか。 ◆ベアマンとスウの立場を自分と重ねて考え、自分にできる精一杯のことをしようとする大切さを感じることができたか。	最後のひと葉	1 「思いやりの心」とはどのような心かを考える。 2 「最後のひと葉」を読み、ベアマンの行為と、相手を自分のことのように大切に思う心とのつながりを考える。 3 「思いやりの心」について学んだことを自分の言葉でまとめる。

		本当の（社会で生活するうえで大切な）自由とは何かを理解し、規律ある行動をとろうとする。	◆登場人物の行動や思いから、自由の意味を考えられるようになったか。 ◆自由の意味について、これまでの生活を振り返って考えられるようになったか。	大空に飛び立つ鳥	1 自分の経験を通して、自由の多様性について話し合う。 2 「大空に飛び立つ鳥」を読み、本当の自由について考える。 3 「本当の自由」という言葉のもつ意味について考える。
3 学 期	8	互いのよさに気づき、そのよさを認め合いながら互いを高め合う友達関係を築こうとする。	◆自分とは違った相手の長所を自分に取り入れることで、互いに成長し合う友達関係の構築につながることを考えられるようになったか。 ◆友達のよさを自分に取り入れることで、相手の見方が変わり、友達関係を広げられることのよさを感じることができるようになったか。	めざせ、百八十回！	1 高め合える友達とは、どのような友達なのかについて、考えを出し合う。 2 「めざせ、百八十回！」を読み、高め合える友達関係を築くために大切なことを考える。 3 自分を高めてくれる友達がいるよさについて考える。
		だれに対しても公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めようとする。	◆自分の利益や立場を超えてまで、正義を貫く心の大切さについて考えられるようになったか。 ◆自分の好き嫌いで判断せずに、公正、公平な態度で接することの大切さを感じられるようになったか。	六千人の命を救った決断 ー杉原千畝ー	1 杉原千畝の経歴や業績を共有する。 2 「六千人の命を救った決断 ー杉原千畝ー」を読み、正義について考える。 3 杉原千畝の生き方から、学んだことについてまとめる。
		生きる喜びを感じながら、自分の考えや行動を広げ、よりよく生きようとする。	◆他者との関わりの中で、成長し広がるとはどういうことか、考えられるようになったか。 ◆これまでの自分のことを振り返り、未来に向けてよりよく生きることを考えられるようになったか。	わたしは ひろがる	1 「わたしは ひろがる」という題名について考える。 2 「わたしは ひろがる」を読み、よりよい生き方について考える。 3 「自分をひろげる」にはどうすればよいか話し合い、自分の考えをまとめる。
		より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力してやり遂げようとする。	◆目標に向かってやり抜く必然性や重要性を、さまざまな視点から考えられるようになったか。 ◆笹船の志を考えることを通して、より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずにものごとをやり抜こうとする大切さを考えられるようになったか。	志をとげるために ー小川笹船ー	1 志を遂げるために大切なことを考える。 2 「志をとげるために ー小川笹船ー」を読み、志を遂げるために大切なことについて考える。 3 志を遂げるために大切にしていきたいことについてまとめる。
		真の友情は、相手の立場に立って寄り添い、互いに相手の幸せを願う心から生まれていることが分かり、自分も真の友情を育てようとする。	◆相手を心から信頼し、相手の幸せを願う心から生まれる友情について、和也と正一のそれぞれの立場や、それぞれの場面の状況から考えることができたか。 ◆相手を心から信頼し、相手の幸せを願う友達関係を、和也や正一の姿と自分を重ねたり、自分自身の経験を振り返ったりしながら考えることができたか。	友のしょうぞう画	1 「真の友情」とはどのような友情か、考える。 2 「友のしょうぞう画」を読み、「真の友情」とはどのような友情かを考える。 3 本時で学んだことを自分の言葉でまとめる。
		郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、郷土を愛する心をもつ。	◆飛松さんや熊本の人々の今までの熊本城や復興への思いについて、「自分たちのためにも大切に守っていこう」という視点や、「未来の人のために引き継いでいこう」といった視点から考えられるようになったか。 ◆自分たちの地域の伝統的・文化的行事を振り返り、参加しよき地域の	よみがえれ熊本城	1 自分たちの地域で大切にされているものについて話し合う。 2 「よみがえれ熊本城」を読み、熊本城に対する地域の人々の思いについて考える。 3 自分たちの地域の伝統や文化が、大切にされている理由について話し合う。
		他国の人々や多様な文化を理解すると共に、日本人としての自覚をもって国際親善に努める。	◆自分たちにできることを考え、進んで他国の人々と接していくことが、ものの感じ方や考え方、生活習慣、文化の違う他国の人々との国際親善につながることを、さまざまな視点から考えられるようになったか。 ◆自分たちにできることを考え、進んで他国の人々と接していくことが、	第九がひびく町 ードイツと鳴門 友好のかけ橋ー	1 世界の国の人々と仲よくなるためにはどうしたらよいのか考える。 2 「第九がひびく町 ードイツと鳴門 友好のかけ橋ー」を読み、国際親善について考える。 3 国や文化の違いを越えて分かり合うために大切なことを考える。
	生命は、多くのつながりの中にあり、かけがえのないものであることを理解し、自他の生命を尊重しようとする。	◆平和について、戦争から生まれる悲しみや禎子さんの思いなど、さまざまな視点から考えられるようになったか。 ◆自分も平和を守ろうとする思いをもつことができるようになったか。	羽ばたけ、折り鶴	1 「原爆の子の像」について知っていることを話し合う。 2 「羽ばたけ、折り鶴」を読み、命と平和について考える。 3 命や平和の大切さについて、話し合う。	
留意点 引継ぎ等		・ 正解を押し付けず、児童が自ら考えを深める発問・対話を重視する。 ・ 教材の価値を自分事として捉え、これからの行動や判断につなげる学習にする。 ・ 話し合い活動や記述を通して、他者の考えに触れながら自己の考えを深める。 ・ 数値評価ではなく、児童の変容や成長の様子を見取り、記述で把握する。			

令和 8 年度 小学部 6 年（Ⅱ課程） 外国語活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部 6 年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		【知及技】 外国語を用いた体験的な活動を通して，日本語と外国語の音声の違いなどに気付き，英語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。 【思判表力】 身近で簡単な事柄について，聞いたり話したりして自分の考えや気持ちを伝え合う。 【学・人】 外国語を通して外国の文化や生活に触れながら，進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	【知及技】Hello. やGoodbye. など挨拶の表現に慣れ親しむ。 【思判表力】友達と表情やジェスチャーで挨拶しようとする。 【学・人】英語での挨拶活動に積極的に参加しようとする。	【知・技】挨拶の表現を聞いたり言ったりしている。 【思・判・表】ジェスチャーで気持ちを伝えようとしている。 【主学】英語の活動に進んで参加している。	Hello! あいさつをしよう	・映像で世界の挨拶を知る ・名前を言って挨拶する ・歌「Hello Song」 ・ジェスチャーゲーム 【語彙】Hello / Hi / Goodbye / I'm～ / How are you? 【留意点】様々な言語・挨拶への気づき。ALT活用。
		【知及技】色や身の回りの物の英語表現に慣れ親しむ。 【思判表力】聞いた英語を物・絵カードと結び付けようとする。 【学・人】英語の音声やリズムを楽しもうとする。	【知・技】色・身近な物の英語を聞いて正しく反応している。 【思・判・表】カード選択や指差しで意味を示している。 【主学】カードゲームに進んで参加している。	Colors & Things 色と身の回りの物	・色カードカルタ ・What color is this?クイズ ・教室の物を英語で確認するゲーム 【語彙】red / blue / green / yellow / pencil / eraser 【留意点】日本語（外来語）と英語の音声の違いへの気づきを促す。
		【知及技】I like～の表現と食べ物・動物などの語に慣れ親しむ。 【思判表力】好きなものを簡単な語で伝えようとする。 【学・人】友達とのやり取りを楽しもうとする。	【知・技】好みを表す語を聞いて理解している。 【思・判・表】I like～を用いて好みを表現しようとしている。 【主学】友達の発表を聞こうとしている。	I like～ 好きなものをつたえよう	・チャンツ「I like apples!」 ・絵カードで好みのやり取り ・自己紹介ゲーム（好きなもの） 【語彙】apple / banana / dog / cat / I like～ / Do you like～? 【留意点】友達の好みを予想→確認の流れで自然な言語使用場面を設定する。
		【知及技】1～20の数の言い方に慣れ親しむ。 【思判表力】数を尋ねたり答えたりしようとする。 【学・人】数を使ったゲームを楽しもうとする。	【知・技】1～20の数を聞いて理解している。 【思・判・表】How many?の問いに数字や動作で反応している。 【主学】数ゲームに進んで参加している。	How many? 数えてあそぼう	・指を使った数唱 ・How many?カウントゲーム ・数絵本の読み聞かせ 【語彙】numbers 1～20 / How many～? 【留意点】外国の数え方と日本との違いへの気づきを促す。指・実物など視覚支援を活用。
2 学期	15	【知及技】What's this? / It's a～. の表現と身の回りの物の語に慣れ親しむ。 【思判表力】ヒントを聞いてものを当てようとする。 【学・人】クイズ活動を楽しもうとする。	【知・技】What's this?の問いに反応している。 【思・判・表】ヒントをもとに答えを推測している。 【主学】クイズに積極的に参加している。	What's this? これなあに？	・シルエットクイズ ・ヒントを聞いて当てるゲーム ・自分でクイズを出す活動 【語彙】What's this? / It's a～. / Hint, please. 【留意点】音声と意味の対応を体験的に学ぶ。英語絵本の活用可。
		【知及技】日常生活を表す英語表現に慣れ親しむ。 【思判表力】生活場面と英語を結び付けて理解しようとする。 【学・人】生活と英語のつながりに関心をもつ。	【知・技】生活に関する語を聞いて正しく反応している。 【思・判・表】絵カード等で意味を示している。 【主学】活動に主体的に参加している。	Daily Life 毎日の生活	・絵カードマッチング ・I eat～. チャンツ ・一日のルーティン紹介 【語彙】eat / drink / play / sleep / wake up / breakfast 【留意点】生活単元と関連づけて実施する。絵カード・写真等の視覚支援を活用。
		【知及技】外国の行事・文化に関する表現に慣れ親しむ。 【思判表力】日本との文化の違いに気付こうとする。 【学・人】外国の文化に興味・関心をもつ。	【知・技】外国の行事について聞いて理解している。 【思・判・表】活動を通して文化の違いに気付いている。 【主学】文化体験活動に参加している。	Foreign Culture Day 外国の文化を知ろう	・Halloween/Christmas体験活動 ・世界の挨拶の紹介 ・ALTの母国文化紹介 【語彙】Halloween / Christmas / Trick or Treat / world 【留意点】ALTの母国文化紹介を積極的に取り入れる。文化多様性への気づきを促す。
		【知及技】Who are you? / I'm～. の表現と動物・身体部位の語に慣れ親しむ。 【思判表力】絵本などの短い話を反応しながら聞こうとする。 【学・人】英語の読み聞かせを楽しもうとする。	【知・技】Who are you?の問いと答え方を理解している。 【思・判・表】読み聞かせに反応しながら聞いている。 【主学】英語の絵本活動に進んで参加している。	Who are you? きみはだれ？	・英語絵本の読み聞かせ ・動物カードでWho are you?ゲーム ・台詞の模倣 【語彙】Who are you? / I'm a～. / cow / dog / head / eyes 【留意点】英語の音声・リズムと日本語の違いへの気づきを促す。台詞模倣を奨励。

3 学 期	8	【知及技】What do you want? / ～, please. の表現と形・大きさの語に慣れ親しむ。 【思判表力】欲しい形を伝えてカードを作ろうとする。 【学・人】友達へのプレゼント作りを楽しもうとする。	【知・技】形・大きさを表す語を聞いて理解している。 【思・判・表】欲しい物を言葉やジェスチャーで伝えようとしている。 【主学】カード作り活動に意欲的に参加している。	This is for you. カードをおくろう	・形シルエットクイズ ・Please/Here you are. でやり取りしカードを完成させる ・完成カードを友達へ贈る 【語彙】What do you want? / ～, please. / circle / triangle / big / small 【留意点】生活単元「制作」「贈り物」と関連づけて実施可
		【知及技】英語の歌やチャンツの音声・リズムに慣れ親しむ。 【思判表力】歌やチャンツで身体を動かして英語を表現しようとする。 【学・人】英語の音やリズムを楽しもうとする。	【知・技】英語の歌やチャンツの内容を聞いて理解している。 【思・判・表】歌・動作で積極的に参加している。 【主学】活動を楽しんでいる。	English Song & Chant 歌やチャンツ で英語に親しもう	・Head, Shoulders, Knees and Toes ・ABCソング ・チャンツ（好きなもの・数） 【語彙】head / shoulders / knees / toes / eyes / ears 【留意点】音声・リズムへの慣れ親しみを最重視。身体活動と連動させる。
		【知及技】アルファベット大文字の読み方に慣れ親しむ。 【思判表力】身の回りにある大文字を探したり, 名前の頭文字を伝えようとする。 【学・人】文字への関心をもって活動しようとする。	【知・技】大文字A～Zの読み方を聞いて理解している。 【思・判・表】自分の名前の頭文字を選んで伝えようとしている。 【主学】文字探し・カード活動に参加している。	ALPHABET アルファ ベットと仲よし	・ABCカルタ ・身の回りの大文字探し ・自分の名前の頭文字紹介 【語彙】A～Z（大文字）/ alphabet 【留意点】大文字の読み方への気づき。身の回りの看板等の表示と結びつける。
		【知及技】既習表現（挨拶・好みの尋ね方等）を使ったやり取りに慣れ親しむ。 【思判表力】友達と簡単な英語でやり取りしようとする。 【学・人】英語でのコミュニケーションを楽しもうとする。	【知・技】既習の英語表現を聞いて理解している。 【思・判・表】What do you like?等に言葉や動作で反応している。 【主学】英語の交流活動に積極的に参加している。	Let's Communicate! みんなで話してみよう	・1年間の復習インタビューゲーム ・好きなものを紹介し合う ・英語スゴロク（既習表現活用） 【語彙】既習語彙全般 / Hello / I like～ / What do you like? 【留意点】中学部外国語科への接続を意識。挨拶・自己紹介・好みのやり取りを総復習。
		【留意点・引継ぎ等】 ・歌・ゲーム・カード・絵本など体験的・遊び的活動を中心に構成し、英語の音声・リズムへの慣れ親しみを重視する。 ・ALTや視聴覚教材（映像・音声）を積極的に活用し、本物の英語に触れる機会を確保する。 ・ジェスチャー・表情・絵カード・実物など非言語手段も取り入れ、コミュニケーション活動の幅を広げる。 ・日本語（外来語）と英語の音声・リズムの違いへの「気づき」を促す指導を意識する。 ・単元評価は「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」の三観点で行う。 ・中学部外国語科への接続を見据え、「挨拶」「自己紹介」「好みのやり取り」「数の表現」を系統的に扱う。 ・個々の実態に応じ、発語困難な児童は指差し・ジェスチャー・カード選択等の代替手段を認め、参加を保証する。			

令和8年度 小学部 6年（Ⅱ課程） 特別活動 年間指導計画

配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	小学部6年		無し

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身につける。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定できるようにする。 (学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するするとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	(知及技)学級集団の中で他者と協力して役割を果たす。 (思判表力)学級集団の中で課題を発見し、目標を決める。 (学・人)自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かす。	(知・技)学級集団の中で他者と協力して役割を果たそうとしている。 (思・判・表)学級集団の中で課題を発見し、目標を決めようとしている。 (主学)自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かそうとしている。	・学級開き、新年度を迎えて ・新入生歓迎会	・新しい学年を迎えるとともに小学生としての自覚を深める。 ・一学期の目標設定、時間割の作成、役割分担などをする。 ・病院内訪問学級や他学部の生徒等と親睦を図る。
		(知及技)・児童生徒会の活動内容について知る。 ・火災が発生したときの避難方法を学ぶ。 (思判表力)・学校全体の生活をよりよくするための課題を見いだすことができる。 ・どこで火災が発生したのか、どの経路で避難した方がいいのか判断することができる。 (学・人)・様々な生徒と協力し、学校生活の充実と向上を図ることができる。 ・火災を起こさないために日頃から気をつけることができる。	(知・技)・児童生徒会の活動内容について知ろうとしている。 ・火災が発生したときの避難方法を学ぼうとしている。 (思・判・表)・学校全体の生活をよりよくするための課題を見いだそうとしている。 ・どこで火災が発生したのか、どの経路で避難した方がいいのか判断しようとしている。 (主学)・様々な生徒と協力し、学校生活の充実と向上を図ろうとしている。 ・火災を起こさないために日頃から気をつけようとしている。	・児童生徒総会 ・火災避難訓練	・今年度の活動内容などについて知る。 ・災害時の避難経路、避難方法について学習する。
		(知及技)・戦争や平和について考えることができる。 ・集団活動の意義を理解し、集団行動の仕方などを身につける。 (思判表力)・平和な生活を送るためにどうすれば良いかを考える。 ・自分で参加できる方法を考え、皆と協力して取り組む。 (学・人)戦争の悲惨さを知り、平和な世界が続くための行動につなげることができる。 ・文化的行事に積極的に取り組む。	(知・技)・戦争や平和について考えようとしている。 ・集団活動の意義を理解し、集団行動の仕方などを身につけている。 (思・判・表)・平和な生活を送るためにはどうすればよいか考えようとしている。 ・自分で参加できる方法を考え、皆と協力して取り組もうとしている。 (主学)・戦争の悲惨さを知り、平和な世界が続くための行動につなげようとしている。 ・文化的行事に積極的に取り組もうとしている。	・平和集会 ・森川フェス	・講話 ・平和を守るには、何ができるのか話し合い活動をする。 ・活動内容の事前の検討、当日の積極的な参加。
		(知及技)・不審者対応訓練を行う意味や意義を理解する。 ・校外学習を行う意味や意義を理解する。 ・キャリア教育の理解を深める。 ・一学期を振り返る。 (思判表力)・校内放送を聞いて教師の指示に従って行動する。 ・目的地、移動手段、活動方法を考えたり、意見を出し合ってよりよい方法や手段を導き出す。 ・一学期の学習を思い出す。 (学・人)・不審者に遭遇した時の対応の仕方を学ぶ。 ・立てた計画等を理解し、見通しを持って参加することができる。	(知・技)・不審者対応訓練を行う意味や意義を理解している。 ・校外学習を行う意味や意義を理解している。 ・キャリア教育の理解を深めている。 ・一学期を振り返ることができる。 (思・判・表)・校内放送を聞いて教師の指示に従って行動している。 ・目的地、移動手段、活動方法を考えたり、意見を出し合ってよりよい方法や手段を導き出している。 ・一学期の学習を思い出そうとしている。 (主学)・不審者に遭遇した時の対応の仕方を学ぼうとしている。 ・立てた計画等を理解し、見通しを持って参加しようとしている。	・不審者対応訓練 ・校外学習 ・キャリアパスポート学期の振り返り ・1学期終業式	・自身の身の守り方などを学習する。 ・目的地、移動手段、活動について話し合い、決定する。 ・キャリアパスポートに必要事項を記載する。 ・緊急時の避難経路について学習する。 ・1学期の反省の発表
		(知及技)学級集団の中で他者と協力して役割を果たす。 (思判表力)1学期の振り返りから、目標を決定する。 (学・人)自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かす。	(知・技)学級集団の中で他者と協力して役割を果たそうとしている。 (思・判・表)1学期を振り返り、目標を設定しようとしている。 (主学)自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かそうとしている。	・2学期始業式	・2学期の諸行事の確認と目標を設定する。
2 学期	14	(知及技)少年犯罪について考えることができる。 (思判表力)少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解する。 (学・人)事件、事故等に巻き込まれず、安全に身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身につける。	(知・技)少年犯罪について考えようとしている。 (思・判・表)少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解している。 (主学)事件、事故等に巻き込まれず、安全に身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身につけようとしている。	・安全学習支援授業 (少年犯罪被害防止)	・少年犯罪の現状を知り、理解を深める。
		(知及技)・集団活動の意義を理解し、集団行動の仕方などを身につける。 ・地震・津波が発生したときの避難方法を身につける。 ・様々なジャンルの本に親しみ、視野を広げることができる。 (思判表力)・自分で参加できる方法を考え、皆と協力して取り組む。 ・地震・津波が発生したときの避難経路、避難場所を把握する。 ・本を読んで文字に書いたり絵に描いたりして感想を表現することができる。 (学・人)・文化的行事に積極的に取り組む。 ・地震・津波などの自然災害への備えを日頃から意識することができる。 ・作品を通して、読む力、書く力を身につけることができる。	(知・技)・集団活動の意義を理解し、集団行動の仕方などを身につけている。 ・地震・津波が発生したときの避難方法を身につけている。 ・様々なジャンルの本に親しみ、視野を広げようとしている。 (思・判・表)・自分で参加できる方法を考え、皆と協力して取り組もうとしている。 ・地震・津波が発生したときの避難経路、避難場所を把握している。 ・本を読んで文字に書いたり絵に描いたりして感想を表現しようとしている。 (主学)・文化的行事に積極的に取り組もうとしている。 ・地震・津波などの自然災害への備えを日頃から意識している。 ・作品を通して、読む力、書く力を身につけている。	・森川フェス ・総合避難訓練 ・読書週間	・与えられた役割に責任を持って取り組む。 ・避難方法、避難経路を確認する。 ・読書週間を通して読書に関心を持つ。

		(知及技) ・エイズについての簡単な知識を得る。 ・キャリアパスポートの内容を振り返る。 ・校外学習を行う意味や意義を理解する。 ・2学期を振り返る。 (思判表力) ・エイズが及ぼす影響を知る。 ・キャリアパスポートの内容を自己評価をする。 ・目的地、移動手段、活動方法を考えたり、意見を出し合ってよりよい方法や手段を導き出す。 ・2学期の振り返り自己評価できる。 (学・人) ・偏見や差別のない世界の実現に向けて考える。 ・キャリアパスポートの自己評価から課題や目標を見つける。 ・2学期の自己評価から、3学期に向けての課題を見つける。	(知・技) ・エイズについての簡単な知識を得ている。 ・キャリアパスポートの内容を振り返っている。 ・校外学習を行う意味や意義を理解している。 ・2学期を振り返っている。 (思・判・表) ・エイズが及ぼしている影響を知り、解決方法を考えている。 ・キャリアパスポートの内容を自己評価をしている。 ・目的地、移動手段、活動方法を考えたり、意見を出し合ってよりよい方法や手段を導き出している。 ・2学期の振り返り自己評価している。 (主学) ・偏見や差別のない世界の実現に向けて考えている。 ・キャリアパスポートの自己評価から課題や目標を見つけている。 ・2学期の自己評価から、3学期に向けての課題を見つけている。	・エイズ指導 ・キャリアパスポート学期の振り返り ・校外学習 ・2学期終業式	・DVDなどを鑑賞する。 ・キャリアパスポートに必要事項を記載する。 ・2学期の反省の発表 ・目的地、移動手段、活動について話し合い、決定する。
3 学期	8	(知及技) ・学級集団の中で役割を果たす。 ・生徒会役員選挙、投票の方法を学び投票する。 ・集団行動や公共の場でのマナーを学ぶ。 (思判表力) ・学級の中で課題を発見し、目標を意思決定する。 ・環境に即したマナーを学ぶ。 (学・人) ・自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かす。 ・集団行動や公共の場でのマナーを守る意義を理解し、実践する。	(知・技) ・学級集団の中で他者と協力して役割を果たそうとしている。 ・生徒会役員選挙、投票の方法を学び投票できている。 ・集団行動や公共の場でのマナーを学んでいる。 (思・判・表) ・学級の中で課題を発見し、目標を意思決定しようとしている。 ・立候補者の考えを聞いて投票している。 ・環境に即したマナーを学んでいる。 (主学) ・自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かそうとしている。 ・集団行動や公共の場でのマナーを守る意義を理解し、実践している。	・3学期始業式 ・生徒会役員選挙 ・校外学習	・3学期の諸行事の確認と目標設定。 ・生徒会役員選挙、投票などについて学ぶ。 ・お金の支払の仕方を学ぶ。
		(知及技) ・サイバー犯罪について考えることができる。 ・キャリアパスポートを通して、キャリア教育を振り返る。 (思判表力) ・サイバー犯罪が心身や生活に与える影響を理解する。 ・キャリアパスポートの内容を自己評価をする。 (学・人) ・事件等に巻き込まれず、安全に身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身につける。 ・キャリアパスポートの自己評価からの次年度課題や目標を見つける。	(知・技) ・サイバー犯罪について考えようとしている。 ・キャリアパスポートを通して、キャリア教育を振り返ろうとしている。 (思・判・表) ・サイバー犯罪が心身や生活に与える影響を理解している。 ・キャリアパスポートの内容を自己評価をする。 (主学) ・事件等に巻き込まれず、安全に身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身につけようとしている。 ・キャリアパスポートの自己評価からの次年度課題や目標を見つけている。	・安全学習支援授業 (サイバー犯罪被害防止) ・キャリアパスポート年間の振り返り	・サイバー犯罪について理解を深める。 ・キャリアパスポートに必要事項を記載する。
		(知及技) ・儀式的行事の意義や、その場にふさわしい参加の仕方について理解する。 ・規律や気品のある行動の仕方などを身につける。 (思判表力) ・学校生活の節目の場において先を見通したり、これまでの生活を振り返ったりしながら、新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をする。 (学・人) ・厳肅で清新な気分を味わい、行事の節目として、見通しをもったり振り返ったりしながら、新たな生活への希望や意欲につなげる。	(知・技) ・儀式的行事の意義や、その場にふさわしい参加の仕方について理解している。 ・規律や気品のある行動の仕方などを身につけている。 (思・判・表) ・学校生活の節目の場において先を見通したり、これまでの生活を振り返ったりしながら、新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をしている。 (主学) ・厳肅で清新な気分を味わい、行事の節目として、見通しをもったり振り返ったりしながら、新たな生活への希望や意欲につなげようとしている。	・高等部卒業式 ・小中学部卒業式 ・修了式、離任式	・卒業式の歌の練習。 ・送辞の準備、卒業式の歌の練習などをする。 ・1年間を振り返りお世話になった先生方へ感謝の思いを伝える。
留意点 引継ぎ等					
特になし					